

## シラバス

科目名	ITリテラシー		担当者名	千葉 輝子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	トラブルに巻き込まれない、トラブルを起こさない人材の育成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ITリテラシーを身に付け、情報の取捨選択ができるようになる				
授業概要	情報リテラシー 情報を正しく使うための能力 ネットワークリテラシー ネットワークやセキュリティに関する知識 コンピュータリテラシー パソコンやスマホなどのツールを使いこなす能力 を身に付ける				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス	19	ネット社会に潜む危険と対策	
	2	ガイダンス	20	ネット社会に潜む危険と対策	
	3	ガイダンス	21	メールによるコミュニケーション	
	4	ガイダンス 自己紹介・自分のパソコンを調べよう	22	メールによるコミュニケーション	
	5	SNSのトラブル事例を調べよう	23	Webによるコミュニケーション	
	6	CPUの種類、周辺機器を調べよう	24	Webによるコミュニケーション	
	7	コンピュータシステム	25	モバイル機器の活用と管理	
	8	コンピュータシステム	26	モバイル機器の活用と管理	
	9	コンピュータシステム	27	ネットワークの仕組み	
	10	コンピュータシステム	28	ネットワークの仕組み	
	11	情報化社会のモラルとセキュリティ	29	Webページを作成してみよう	
	12	情報化社会のモラルとセキュリティ	30	Webページを作成してみよう	
	13	個人情報の適切な取り扱い	31	Webページを作成してみよう	
	14	個人情報の適切な取り扱い	32	学年末試験	
	15	デジタル時代の著作権	33	学年末試験の解答解説	
	16	デジタル時代の著作権	34	ガイダンス	
	17	前期期末試験	35	ガイダンス	
18	前期期末試験の解答解説	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート				
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

シラバス

科目名	英会話 I B		担当者名	CHAN ERNEST	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。				
授業概要	コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティ、ゲーム、ロールプレイ、絵本等とおして、英語を基礎から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問	19	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	2	Present Tense 現在形を練習します。	20	Making small talk 雑談できるように学びます。	
	3	動詞'Be' Be' 動詞の使い方を学び。	21	What not to talk about いい話題と悪い話題を学びます。	
	4	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。	22	Directions 方向や目的地までの行き方を英語で伝えられるように学びます。	
	5	Describing People 人の様子を説明する練習をします。	23	Public Transportation 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	6	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。	24	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝えるように学びます。	
	7	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。	25	Travel manners and safety 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びます。	
	8	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。	26	Making requests お願いの仕方について学びます。	
	9	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックインについて学びます。	27	Culture Shock 文化の違いやカルチャーショックを説明できるよう学びます。	
	10	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。	28	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。	
	11	Questions 現在形の質問をゲーム形式で学びます。	29	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	12	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、スポーツなど自分が好きな事話します。	30	Sharing my dream vacation 「なぜここを選んだ」という理由を説明する英語を学びます。	
	13	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。	31		
	14	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな食べ物、レストランでの注文の仕方を学びます。	32		
	15	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンドイッチの作り方を説明を練習します。	33		
	16	Planning a trip 海外旅行計画が作れるように学びます。	34		
	17	Airport English C・I・Qで使われる英語を学びます。	35		
	18	Staying at the hotel ホテルでの英語を学びます。	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績評価を行う。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>60%				
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー				

## シラバス

科目名	英会話 I B		担当者名	Jina McCullough	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。				
授業概要	コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティ、ゲーム、ロールプレイ、絵本等とおして、英語を基礎から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問	19	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	2	Present Tense 現在形を練習します。	20	Making small talk 雑談できるように学びます。	
	3	動詞'Be' Be' 動詞の使い方を学び。	21	What not to talk about いい話題と悪い話題を学びます。	
	4	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。	22	Directions 方向や目的地までの行き方を英語で伝えられるように学びます。	
	5	Describing People 人の様子を説明する練習をします。	23	Public Transportation 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	6	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。	24	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝えるように学びます。	
	7	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。	25	Travel manners and safety 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びます。	
	8	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。	26	Making requests お願いの仕方について学びます。	
	9	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックインについて学びます。	27	Culture Shock 文化の違いやカルチャーショックを説明できるよう学びます。	
	10	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。	28	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。	
	11	Questions 現在形の質問をゲーム形式で学びます。	29	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	12	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、スポーツなど自分が好きな事話します。	30	Sharing my dream vacation 「なぜここを選んだ」という理由を説明する英語を学びます。	
	13	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。	31		
	14	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな食べ物、レストランでの注文の仕方を学びます。	32		
	15	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンドイッチの作り方を説明を練習します。	33		
	16	Planning a trip 海外旅行計画が作れるように学びます。	34		
	17	Airport English C・I・Qで使われる英語を学びます。	35		
	18	Staying at the hotel ホテルでの英語を学びます。	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績評価を行う。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>60%				
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー				

## シラバス

科目名	英会話 I B		担当者名	モース エミリー		
学 科	ホテル科		授業方法	実習		
認定単位 開講学年	1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。					
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	Unit 2 Lesson A	19	Unit 8 Lesson A		
	2	Unit 2 Lesson B	20	Unit 8 Lesson B		
	3	Unit 2 Lesson C	21	Unit 8 Lesson C		
	4	Unit 2 Lesson D	22	Unit 8 Lesson D		
	5	Speaking Test	23	Speaking Test		
	6	Speaking Test	24	Speaking Test		
	7	Unit 4 Lesson A	25	Unit 10 Lesson A		
	8	Unit 4 Lesson B	26	Unit 10 Lesson B		
	9	Unit 4 Lesson C	27	Unit 10 Lesson C		
	10	Unit 4 Lesson D	28	Unit 10 Lesson D		
	11	Speaking Test	29	Speaking Test		
	12	Speaking Test	30	Speaking Test		
	13	Unit 6 Lesson A	31	Unit 12 Lesson A		
	14	Unit 6 Lesson B	32	Unit 12 Lesson B		
	15	Unit 6 Lesson C	33	Unit 12 Lesson C		
	16	Unit 6 Lesson D	34	Unit 12 Lesson D		
	17	Speaking Test	35	Speaking Test		
18	Speaking Test	36	Speaking Test			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>50%					
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assistant and promoted to teacher.					

## シラバス

科目名	異文化コミュニケーション I		担当者名	富手 貴子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	<p>1. 異なる文化的背景や価値観を持つ他者を知り、異文化への興味・関心を広げ、多様な背景を持つ人々と良好なコミュニケーションを図るための能力やスキル、寛容な態度を養う。</p> <p>2. 国際社会や国際ビジネス、訪日外国人に目を向け、これからの多文化共生社会における専門的職業人としての素養</p>				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>1. 異文化や国際社会に興味・関心をもって、寛容な心と態度で柔軟に対応するとともに、自分の意見を発信できるコミュニケーション力を身につけている。</p> <p>2. 異文化コミュニケーションや訪日外国客接遇の基礎的な知識を習得し、それらの意義を理解し、自身のキャリアへの</p>				
授業概要	<p>1. 国家間や人種の違いだけでなく世代や立場の違いなどを文化差と捉え、異文化摩擦の原因や対処法の理論を理解するのみならず、体験的に身に付けていくことができるように、具体的な異文化接触場面の事例を取り上げ、ディスカッションやアクティビティなどの活動を行う。この活動の過程で、異文化トレーニングの手法や、効果的なコミュニケーションの方法を学び、実践する。</p> <p>2. 国際的な話題(国内外の動向や社会問題、経済やビジネス、旅行・観光やポップカルチャーなど)に幅広く触れ、国</p>				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	訪日外国人旅行者接遇の基礎②	
	2	オリエンテーション②	20	訪日外国人旅行者接遇の基礎③	
	3	異文化コミュニケーションとは①	21	異文化コミュニケーション・トレーニング①	
	4	異文化コミュニケーションとは②	22	異文化コミュニケーション・トレーニング②	
	5	異文化コミュニケーションとは③	23	アイデンティティ①	
	6	異文化コミュニケーションとは④	24	アイデンティティ②	
	7	コミュニケーション・スタイル①	25	グローバル・コミュニケーション①	
	8	コミュニケーション・スタイル②	26	グローバル・コミュニケーション②	
	9	ものの見方を広げる①	27	多文化共生ワーク②	
	10	ものの見方を広げる②	28	国民文化①	
	11	異文化コミュニケーション・スキル①	29	国民文化②	
	12	異文化コミュニケーション・スキル②	30	国民文化③	
	13	多文化共生ワーク①	31	日本の話題・世界の話題①	
	14	言語・非言語コミュニケーション①	32	日本の話題・世界の話題②	
	15	言語・非言語コミュニケーション②	33	日本の話題・世界の話題③	
	16	発表準備	34	まとめ	
	17	発表&フィードバック	35	期末試験	
18	訪日外国人旅行者接遇の基礎①	36	振り返り		
成績割合	テスト	<small>40%</small>	学習FB方法		
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	<small>20%</small>	成績評価	授業への出席、ワークやアクティビティの参加度、態度、提出物、テスト、小テスト、発表等で総合的に評価する。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20 R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>80				
講師プロフィール	<p>前職ではグローバルIT企業のコーポレート戦略統括本部にてインターナル・コミュニケーション、前々職では大手日系IT企業にて全社グローバル人材育成施策の企画・運営、研修設計・開発を担当。</p> <p>20代前半から海外に計15年間滞在。オーストラリアではツアーガイドとしてトップセールス、カナダでは現地ホテル勤務の</p>				

## シラバス

科目名	ホテル概論 I		担当者名	松山 茂	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	ホテル全般に関する知識を広く、会得する。 ホテル業界で働くに当たり、迷わずスムーズに業務に取り組めるようにホテル全体のしくみと各業務の内容や横のつながりも理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	プロのホテルマンとして恥ずかしくない、ホテルの知識を持つ。 ホテル検定ベーシック2級の取得を、目指す。				
授業概要	ホテルの商品。 ホテルの歴史。 ホテルの種類。 ホテルの経営形態。 ホテル内各職場の、仕事内用。 ホテル販売の方法。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	ホテルの仕事、営業と管理。シフト勤務。ホテルの定義。ホテルで買えるもの？	19	直営レストランとテナントレストラン。 コーヒーハウス、コーヒーショップ。	
	2	ホテルの起源。ホテル史、貴族社会と最初のホテル、食膳作法50則。	20	和食堂、メインダイニングルーム、フランス料理とイタリアン。	
	3	リッツ&エスコフィユ、スタットラー、ヒルトン&アンダーソン、ケモンズ・ウイリソン	21	中華料理、バイキングレストラン、ルーム・サービス。	
	4	旅館と本陣。横浜ホテル、築地ホテル、リゾートホテル、帝国ホテル、横浜ニューグランド。	22	バー&ラウンジ、アフタヌーンティーの話。 小テスト。	
	5	女のオリンピックと第一ホテル、第一次ホテルブーム、第二次ホテルブーム。 ホテルの大衆化、地方の時代。	23	ホテルレストランの歴史、現状と未来に向けての問題点。	
	6	シティホテルとリゾートホテル。アーバン・リゾートホテル。	24	宴会の組織、宴会の特色とレストランとの違い。	
	7	テーマパークホテル、コミュニティホテル、ビジネスホテルとエコノミーホテル。	25	ホテルの婚礼、テーブルプラン、宴会での仕事。	
	8	所有直営方式、リース方式、マネジメント・コントラクト方式、フランチャイズ方式 コンソーシアム方式。ホテルの組織と組織図 小テスト	26	宴会の種類。 私の宴会における、経験話。 小テスト	
	9	バリ帝国ホテルのDVD鑑賞。	27	お正月プランの話。DVD鑑賞。	
	10	ベッドの種類。客室の種類と名称。特殊な客室。	28	調理の組織と呼称。素材の名称、調理方法の名前と調理器具。	
	11	DDカードとMaku Upカード。客室内照明の話。ホテルの空調。	29	フランス料理、イタリア料理。	
	12	客室のサービス、アメニティと備品類。室内設備、靴磨き、新聞サービス、ミニバー	30	中華料理 北京、広東、上海、四川。	
	13	モーニングコール、マスターキー、清掃とインスペクター、ゴミの処理について。	31	和食の話、パン、チーズ、デザート。 小テスト	
	14	フロントオフィスの仕事、ノーショーとキャンセル、UGとスキッパー	32	客室値段の付け方。稼働率、オーバーブック。	
	15	ドアマンの業務。ベルマンの仕事1	33	平均単価、アップグレード。	
	16	コンシェルジュ、アシスタントマネージャー、オペレーター、スパ&フィットネス	34	宿泊予約の知識。	
	17	対象は、前期すべての授業。	35	後期授業内容を中心に、年間の授業から出題	
18	前期末試験の、答え合わせ。 ヨーロッパプラン、アメリカンプラン、モディファイドアメリカンプラン、コンチネンタルプラン。	36	期末テストの答え合わせ。 問題集を中心にホテル検定受験に向けての対策、注意 等		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	30%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>10% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	宿泊実習 I		担当者名	三橋 綾子	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	ホテルの三大オペレーションの一つである宿泊部門について、各部署ごとにその役割と基本業務を学びます。ホスピタリティ溢れる接客を自ら実践できるようにホテルスタッフの心構えを習得します。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	客室・ベル関連の知識の習得を目標とします。ベルの案内業務では自分なりのおもてなしを考え実践します。ベッドメイクの実技を2人1組で時間内に綺麗に仕上げることを目指します。ホテル用語や客室タイプ、設備や備品関連の名称を覚えます。				
授業概要	講義形式を基本とし、ディスカッションやロールプレイングを通してホテルの接客スキルを理解し身につけます。前期はベルマンの業務を学びます。ホテル実習室にてお出迎えから客室への案内業務を行います。基本を学び自分の感性で案内業務を実践し実技テストとします。後期はホテルの基本商品である客室について管理業務を学びます。実技ではベッドメイクを基礎から学び、スピードと清潔さを重視して仕上げることを反復練習し、2人1組で実技テストをします。				
授業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	授業概要/評価方法説明/ホテルの組織図	19	コンシェルジュ 業務と役割	
	2	グルーミングとスタイル	20	コンシェルジュ お客様への提案	
	3	ドアマン お迎え/お見送り	21	コンシェルジュ お客様への提案 発表	
	4	ドアマン 玄関周辺/バレーサービス	22	ハウスキーピング 重要性と心構え	
	5	ドアマン その他業務	23	ハウスキーピング 客室タイプ	
	6	ベルマン 心構え/ページとポーター	24	ハウスキーピング ルームステイタス	
	7	ベルマン チェックイン手順(個人客)	25	ハウスキーピング 客室管理業務/清掃手順	
	8	ベルマン チェックイン手順(個人客)	26	ハウスキーピング ベッドメイク	
	9	ベルマン チェックイン手順(個人客)	27	ハウスキーピング ベッドメイク練習	
	10	ベルマン チェックイン実技練習	28	ハウスキーピング ベッドメイク練習	
	11	ベルマン チェックイン実技練習	29	ハウスキーピング ベッドメイク実技テスト	
	12	ベルマン チェックイン実技練習	30	ハウスキーピング ベッドメイク実技テスト	
	13	ベルマン チェックイン実技テスト	31	ハウスキーピング 接客サービス業務	
	14	ベルマン チェックイン実技テスト	32	ハウスキーピング 環境への取り組み	
	15	ベルマン 荷物預かり/Baggage Down	33	ハウスキーピング 客室をデザインする	
	16	ベルマン 団体客/ロビー管理	34	フロントサービス まとめ	
	17	筆記試験	35	筆記試験	
18	筆記試験返却 フィードバック	36	筆記試験返却 フィードバック		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期試験実施後、試験返却をもってフィードバックとします	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	都内のホテルにて客室課・宿泊予約課・フロントオペレーションなど宿泊部門を中心に勤務した後、観光系専門学校や大学にてホテル宿泊部門の授業を担当				

## シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	山本 慶子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	自分の卒業ビジョンを作成し、基本的なビジネススキル(働くうえで必要な能力のこと)を身につけ、進級・卒業・就職という大きな流れを意識しそれぞれの夢をかかなえる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1年次における、カリキュラムの理解とともに、卒業ビジョンを作成し、それに必要な学びをテクノスの中で見つけ、実践していく。				
授業概要					
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	後期の講義内容に関して・ビジネスマナー②確認	
	2	自己紹介(聞き手はリアクションを取る練習)	20	企業・仕事求める人材像・力、インターンシップ再告知	
	3	ビジネス用メールルールとメルアド作成	21	志望動機の説明➡考え、文章化する	
	4	職業意識(働くことの意義・意味を考える。GD社会人と学生の違い)	22	発表の仕方レクチャー➡志望動機の発表	
	5	社会人として必要なコミュニケーションとは?	23	就活スケジュール復習➡説明会参加の練習(マナー、質問の仕方)	
	6	第一印象の大切さ、挨拶・マナー①(GDマナーとルールの違いの復習、SNSの注意)	24	就活スケジュール復習➡説明会参加の練習(マナー、質問の仕方)	
	7	業界研究①(国内外業界・業種)・インターン説明	25	面接指導・面接の流れ	
	8	業界研究②(職業・職種・組織)	26	身だしなみ確認・立ち居振る舞い	
	9	就活スケジュール説明・就活とは?・求人の種類・選考の種類	27	履歴書書き方説明➡書く組 / オンライン面接練習組	
	10	自己分析・自分の強みと弱みについて知る、学チカ考える、就活サイト登録・インターン予約	28	求人票の見方➡履歴書書く組 / オンライン面接練習組	
	11	会社訪問の方法 / 必要な資格や知識の確認と説明	29	トークセッション(OBOGを招いて:就活生対象)	
	12	自己分析ワーク➡自己PR作成	30	ES説明、履歴書の提出書仕方 / 面接練習	
	13	業界or職種研究&自己PR発表①	31	GDの説明と練習	
	14	業界or職種研究&自己PR発表②	32	GDの練習	
	15	休み明け:業界or職種研究&自己PR発表②	33	面接練習	
	16	休み明け:業界or職種研究&自己PR発表②	34	面接練習	
	17	自己PR動画の撮影	35	確認テスト(履歴書)・まとめ1	
18	前期 振り返りと後期の課題発見	36	履歴書の注意点・まとめ2		
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	都内の日系ホテルと外資系ホテルにて勤務。レストランサービスやカスタマーサービスなどのオペレーション部門、人事採用担当、レストランオフィス、マーケティングなどの管理部門の両方での実務経験を持つ。中学・高校教員免許(英語)保持。				



## シラバス

科目名	検定対策 I		担当者名	松井 佳子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	英検準2級の勉強を通し、英語を理解し自信を持つこと。 しいては就職試験に役立て、成功体験が人生の道しるべになることを期待する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英検準2級の取得				
授業概要	過去問を使って、単語力. Listening, Reading, Writing, Grammar力をつける。 (週1回 2時間X36回) 使用教材 Basic in grammar by CAMBRIDGE				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	目標、成績のつけ方、小テストの説明 英検準2級の試験説明	19	小テスト 文章を読む 動作&イラストの説明	
	2	小テスト Reading Part.1&2 単語&会話文選択 Listening 第1部	20	小テスト 文章を読む 動作&イラストの説明	
	3	小テスト Reading: Good friends Listening 第2部	21	小テスト 文章を読む 動作&イラストの説明	
	4	小テスト Reading: New Orleans Writing: ネット情報の料理	22	Reading Part1&2 短文&会話文選択 Listening 第1部	
	5	小テスト Reading Part 1 & 2単語&会話文選択 Listening 第1部	23	Reading: Lost for words Listening 第2部	
	6	小テスト Reading: Voice from the past Listening 第2部	24	Reading: pest protection Writing: もっとスポーツ番組を!	
	7	小テスト Reading: Hungry Hikers Writing: スマホで勉強	25	Reading Part1&2 短文&会話文選択 Listening 第1部	
	8	小テスト Reading Part 1 & 2単語&会話文選択 Listening 第1部	26	Reading: Getting a pet Listening 第2部	
	9	小テスト Reading: The costume party Listening 第2部	27	Reading: female pilot Writing: 朝食は必要?	
	10	小テスト Reading: Email Writing: 図書館はもっと行事を開催するべき?	28	Reading Part1 & 2短文&会話文選択 Listening 第1部	
	11	小テスト Reading Part 1 & 2単語&会話文選択 Listening 第1部	29	Reading: Working longer Listening 第2部	
	12	小テスト Reading: pumpkin soup Listening 第2部	30	Reading: Australia Success Writing: 子供を美術館に連れていく	
	13	小テスト Reading: While you wait Writing: 車は持つべき?	31	Reading Part1 & 2短文&会話文選択 Listening 1部	
	14	小テスト Reading Part1 1 & 2単語&会話文選択 Listening 第1部	32	Reading: school trip Listening 第2部	
	15	小テスト Reading: Finding a way Listening 第2部	33	Reading: email Writing: 教室のエアコンは必要?	
	16	小テスト Reading: email Listening 第3部	34	総復習	
	17	前期総復習	35		
18	面接の流れ 動作&イラストを説明する トピックに関する自分の意見を言う	36	成績発表 まとめ 意見交換		
成績割合	テスト	前期後期テスト 各25%	学習FB方法	前期 後期 成績表を配布	
	学習態度・出席率	出席率 20%			
	レポート	レポート 25%	成績評価	出席率80% 以上 S90-100点 A80-89点 B70-79点 C60-69点 D 59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>80%				
講師プロフィール	日本航空国際客室乗員部7年勤務 本校にて講師16年				

## シラバス

科目名	検定対策 I		担当者名	鈴木 良		
学 科	ホテル科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間	
授業目的	授業目的: TOEIC テストで 500~600 を取るのに必要な、語彙・リスニング理解・文法を習得し、基礎を固め、2年次につなげる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	授業目標: ・TOEIC のリスニング 300(100問中約65問正解)、リーディング 200(100問中約50問正解)を取得できるようにする。 ・SVO, SVC などの基本的な文型や、TOEIC に必要な英文法を理解し、まずは単文(文章ではなく)を正確に読めるようにする。					
授業概要	授業概要: 実際の TOEIC Listening & Reading テストに近い問題を使用し、演習を行う。基礎的な単語を身につけるため、毎回単語小テストを行う。また英語学習に対するモチベーションを維持するため、問題に絡めて様々なアクティビティを行う。学習効果を最大限に高めるためには、毎週の単語テストの準備を疎かにせず、しっかり宿題を行い次の授業への準備を行い、授業後は解いた問題を自分で復習することが極めて大事である。					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	授業の説明・目標、TOEIC の説明、TOEIC L. サンプル問題、TOEIC Vocab 1.1	19	プラクティス(旧)U10「Workplace & Business」Conversation B & C、ドリル「不定詞」		
	2	プラクティス(旧)(リスニング)U1「人物の描写」、TOEIC R. サンプル問題、Welcome to College Eng	20	プラクティス(旧)(リスニング)U13「Announcements」Talk A、ドリル「使役動詞」		
	3	プラクティス(旧)(リスニング)Challenge 2、Part 4、ドリル「主述の一致」	21	プラクティス(旧)U11「Personnel & Training」Conversation A、ドリル「自動詞・他動詞」		
	4	Dictation exam 1、プラクティス(旧)(リスニング)U4「Part 2 における質問の種類」、ドリル「品詞」	22	プラクティス(旧)U11「Personnel & Training」Conversation B & C、ドリル「比較」		
	5	プラクティス(旧)(リスニング)U5「WH 疑問文」、ドリル「修飾(品詞の役割)」	23	V. exam 4、U14「Advertisements & Talks」Talk B & C、ドリル「関係詞1(関係代名)」		
	6	Vocabulary exam 1、プラクティス(旧)(リスニング)U9「Society & Life」Conversation	24	プラクティス(旧)(リスニング)U14「Advertisements & Talks」Talk B & C、ドリル「関係詞2」		
	7	プラクティス(旧)(リスニング)U9「Society & Life」Conversation B & C、ドリル「現在形・現在進」	25	トレーニング(リスニング)S1、ドリル「仮定法」		
	8	予備 (IW)	26	トレーニング(リスニング)S2、ドリル「分詞」		
	9	予備 (IW)	27	模試(リスニング)、ドリル「その他」		
	10	プラクティス(旧)(リスニング)U12「Telephone Messages」Talk A、ドリル「過去形・現在完了形」	28	模試(リーディング)		
	11	Vocabulary exam 2、プラクティス(旧)(リスニング)U12「Telephone Messages」Talk B	29	予備(ホテル見学)		
	12	模試(リスニング)、ドリル「接続詞」	30	V. exam 5、トレーニングS3、Welcome to College English「基本文②(第5文型の応用)」練習問題		
	13	模試(リーディング)	31	トレーニング(リスニング)S4、500+ドリル Set 1		
	14	プラクティス(旧)(リスニング)U2「物の描写」、ドリル「前置詞」	32	トレーニング(リスニング)S5、500+ドリル Set 2		
	15	プラクティス(旧)(リスニング)U10「Workplace & Business」Conversation A、ドリル「態」	33	トレーニング(リスニング)S6、500+ドリル Set 3		
	16	まとめ	34	まとめ		
	17	前期期末試験、プラクティス(旧)(リスニング)U13「Announcements」Talk B & C	35	後期期末試験、500+ドリル Set 4		
18	Vocabulary exam 3、プラクティス(旧)(リスニング)U3「人物の動作と状況の描写」、ドリル「動名詞」	36	Vocabulary exam 6、試験返却			
成績割合	テスト		学習FB方法	Microsoft Teams		
	学習態度・出席率	10%				
	レポート	30%	成績評価	単語小テスト等の小テスト、宿題、定期試験(前期・後期)、平常点		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%					
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テストスコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得					

## シラバス

科目名	観光基礎		担当者名	金田一 栄子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国内観光資源について基本的な知識を学ぶ。また、各地の伝統的なホテル、今人気のホテルなどにも、視点を向けられるようになる。				
授業概要	座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。プランニングも行う				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業の概要と地図の使い方	19	京都・大阪・神戸	
	2	47都道府県と県庁所在地	20	三都プランニング	
	3	地元自慢	21	三都プランニング	
	4	北海道	22	近畿1(奈良・三重・和歌山)	
	5	東北地方6県	23	近畿2(兵庫・滋賀)	
	6	北海道・東北地方研究	24	中国1(広島・岡山)	
	7	北関東(茨城・栃木・群馬)	25	中国2(鳥取・島根・山口)	
	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)	26	四国地方 4県	
	9	東京	27	瀬戸内海の島々	
	10	伊豆・箱根	28	九州1(福岡・長崎・佐賀)	
	11	関東地方プランニング	29	九州2(宮崎・大分・熊本・鹿児島)	
	12	関東地方プランニング	30	沖縄	
	13	中部1(山梨・新潟・)	31	九州・沖縄プランニング	
	14	中部2(長野・岐阜)	32	テーマ別研究	
	15	中部3(福井・石川・富山)	33	テーマ別研究	
	16	中部4(愛知・静岡)	34	テーマ別研究	
	17	中部地方プランニング	35	プレゼンテーション	
	18	確認テスト	36	確認テスト・まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期末・後期末 成績表を配布 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B 70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	30%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。				

## シラバス

科目名	観光英語		担当者名	松井 佳子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	自信をもって海外旅行、国内で英語を使えるようする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	観光英検3級取得				
授業概要	観光英検は英語力に加え、国外・国内の地理知識も必須です。海外旅行に必要な単語・文章を、リスニング、リーディング、スピーキングの角度から学んでいきます。				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	授業目標、内容、観光英検、小テスト、課題、成績のつけ方の説明	19	3級単語テスト Reading & Listening section	
	2	Travel	20	観光英検テスト終了後、 Listening & 会話を重視した内容とする	
	3	小テスト 観光業界の様々な職業を学ぶ	21	小テスト Immigration customs	
	4	小テスト Airline counter での check in Flight attendantの仕事	22	小テスト San Franciscoをめぐる	
	5	小テスト Immigration Customs	23	小テスト 食事の注文	
	6	小テスト 到着時の空港routine Take a bus from the airport	24	小テスト At the fast food	
	7	小テスト Hotel Check in B&B	25	小テスト お土産を選ぶ	
	8	小テスト Breakfast	26	小テスト 靴屋での会話	
	9	小テスト Money exchange Tourを申し込む	27	小テスト 道案内	
	10	小テスト Shopping Souvenirs and omivage	28	小テスト getting to a Hotel	
	11	小テスト Train Bus Plane Buy a ticket	29	小テスト 公共交通機関	
	12	小テスト Baggage missing Problems in the hotel room	30	小テスト 電車の切符を買う	
	13	小テスト 世界の首都 観光名所	31	Hotel reservation	
	14	お祭り 伝統的なものや文化の英語表現	32	小テスト Hotel service	
	15	3級単語テスト Reading & Listening section	33	小テスト Lost baggage 機内放送	
	16	3級単語テスト Reading & Listening section	34	学年末テストに向けての確認作業	
	17	前期のまとめ	35		
18	3級単語テスト Reading & Listening section	36	成績発表 1年の総復習		
成績割合	テスト	試験科目数(7科目) 各25点	学習FB方法	前期、後期 成績表を配布	
	学習態度・出席率	出席率(80%) 25点			
	レポート	レポート(1回) 25点	成績評価	出席率80%以上 S90点-100点 A89-80点 B70点-79点 C60点-69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>80% A<主体的参加型学習>80% G<海外体感型学習>80%				
講師プロフィール	日本航空国際客室乗員部7年勤務 本校にて講師 15年				

## シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	福原 初穂	
学 科	ホテル科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	お客様の心を掴むために出来る事を考える。 また、グループワークを通じて、ゴールに向けて仲間と協働することで、主体性やコミュニケーション力、協働力を養うとともに、未来のホテル業界について考えることで、自身の卒後ビジョンのステージを想像する力を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ホテルの基礎知識をベースに、接客業で求められる事を感じ取る。 また将来、どのような宿泊施設が求められるのか自由な発想で考察してみる。(卒後ビジョンを踏まえて)				
授業概要	初め役3ヶ月は基礎知識や顧客心理等の座学。 その後グループに分かれ、学年末にかけて一つの宿泊施設や観光スポットを企画する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介と授業内容の説明	19	中間プレゼンテーションに向けてI 具体的にプランや施設を考える。簡単な企画書の作成。	
	2	ホテルとは何か。旅館との違い。学生の経験から考える。	20	II	
	3	ホテル調査①「帝国ホテル」	21	III	
	4	ホテル調査②「株式会社ミリアルリゾートホテルズ」	22	IV	
	5	ホテル調査③ 気になるホテル	23	V	
	6	ホテル調査まとめ:3週にわたり調べたものを比較。	24	VI	
	7	旧御三家を調べる。歴史や人気の秘密を考える。	25	中間プレゼンテーション	
	8	新々御三家を調べる。(外資系)	26	最終プレゼンテーションに向けて① 場所やプランの変更、見直し。PP・リーフレットの作成。	
	9	顧客心理①	27	ホテル企画②	
	10	顧客心理②	28	③	
	11	顧客心理③	29	④	
	12	顧客心理④	30	⑤	
	13	これからのサービス業・考察	31	⑥	
	14	ホテル企画① 何処にどんなホテルを建てたいか(チーム決め含む)価格設定等	32	⑦リーフレットや話し方のチェック	
	15	② 前週の続き。コンセプトを考える。	33	⑧	
	16	③ 前週の続き。	34	⑨	
	17	④	35	最終プレゼンテーション	
18	⑤クラス内での進行状況の発表	36	まとめ(反省会)		
成績割合	テスト	プレゼン50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	基本無し	成績評価	授業態度・出席率(グループワークに伴うチームメイトへの配慮も含む)を重視	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	帝国ホテル→株式会社オリエンタルランド(東京ディズニーランド)				

## シラバス

科目名	英会話 I A		担当者名	スライ タスノバ	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。				
授業概要	コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティ、ゲーム、ロールプレイ、絵本等とおして、英語を基礎から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。				
授業 計画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問	19	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	2	Present Tense 現在形を練習します。	20	Making small talk 雑談できるように学びます。	
	3	動詞'Be' Be' 動詞の使い方を学び。	21	What not to talk about いい話題と悪い話題を学びます。	
	4	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。	22	Directions 方向や目的地までの行き方を英語で伝えられるように学びます。	
	5	Describing People 人の様子を説明する練習をします。	23	Public Transportation 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	6	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。	24	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝えるように学びます。	
	7	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。	25	Travel manners and safety 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びます。	
	8	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。	26	Making requests お願いの仕方について学びます。	
	9	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックインについて学びます。	27	Culture Shock 文化の違いやカルチャーショックを説明できるよう学びます。	
	10	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。	28	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。	
	11	Questions 現在形の質問をゲーム形式で学びます。	29	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	12	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、スポーツなど自分が好きな事話します。	30	Sharing my dream vacation 「なぜここを選んだ」という理由を説明する英語を学びます。	
	13	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。	31		
	14	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな食べ物、レストランでの注文の仕方を学びます。	32		
	15	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンドイッチの作り方を説明を練習します。	33		
	16	Planning a trip 海外旅行計画が作れるように学びます。	34		
	17	Airport English C・I・Qで使われる英語を学びます。	35		
	18	Staying at the hotel ホテルでの英語を学びます。	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績評価を行う。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>60%				
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー				

## シラバス

科目名	英会話 I A		担当者名	CHAN ERNEST	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。				
授業概要	コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティ、ゲーム、ロールプレイ、絵本等とおして、英語を基礎から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。				
授業 計画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問	19	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	2	Present Tense 現在形を練習します。	20	Making small talk 雑談できるように学びます。	
	3	動詞'Be' Be' 動詞の使い方を学び。	21	What not to talk about いい話題と悪い話題を学びます。	
	4	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。	22	Directions 方向や目的地までの行き方を英語で伝えられるように学びます。	
	5	Describing People 人の様子を説明する練習をします。	23	Public Transportation 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	6	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。	24	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝えるように学びます。	
	7	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。	25	Travel manners and safety 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びます。	
	8	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。	26	Making requests お願いの仕方について学びます。	
	9	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックインについて学びます。	27	Culture Shock 文化の違いやカルチャーショックを説明できるよう学びます。	
	10	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。	28	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。	
	11	Questions 現在形の質問をゲーム形式で学びます。	29	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	12	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、スポーツなど自分が好きな事話します。	30	Sharing my dream vacation 「なぜここを選んだ」という理由を説明する英語を学びます。	
	13	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。	31		
	14	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな食べ物、レストランでの注文の仕方を学びます。	32		
	15	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンドイッチの作り方を説明を練習します。	33		
	16	Planning a trip 海外旅行計画が作れるように学びます。	34		
	17	Airport English C・I・Qで使われる英語を学びます。	35		
	18	Staying at the hotel ホテルでの英語を学びます。	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付  授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績評価を行う。	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>60%				
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー				

## シラバス

科目名	英会話 I A		担当者名	P.Ripley	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。				
授業概要	コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティ、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をおして、英語を基礎から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問	19	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	2	Present Tense 現在形を練習します。	20	Making small talk 雑談できるように学びます。	
	3	動詞'Be' Be' 動詞の使い方を学び。	21	What not to talk about いい話題と悪い話題を学びます。	
	4	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。	22	Directions 方向や目的地までの行き方を英語で伝えられるように学びます。	
	5	Describing People 人の様子を説明する練習をします。	23	Public Transportation 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	6	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。	24	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝えるように学びます。	
	7	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。	25	Travel manners and safety 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びます。	
	8	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。	26	Making requests お願いの仕方について学びます。	
	9	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックインについて学びます。	27	Culture Shock 文化の違いやカルチャーショックを説明できるよう学びます。	
	10	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。	28	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。	
	11	Questions 現在形の質問をゲーム形式で学びます。	29	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	12	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、スポーツなど自分が好きな事話します。	30	Sharing my dream vacation 「なぜここを選んだ」という理由を説明する英語を学びます。	
	13	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。	31		
	14	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな食べ物、レストランでの注文の仕方を学びます。	32		
	15	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンドイッチの作り方を説明を練習します。	33		
	16	Planning a trip 海外旅行計画が作れるように学びます。	34		
	17	Airport English C・I・Qで使われる英語を学びます。	35		
	18	Staying at the hotel ホテルでの英語を学びます。	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績評価を行う。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>60%				
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー				



## シラバス

科目名	ホテル・レストラン英語 I		担当者名	岡崎 志織	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	グローバル環境下における英語対応能力、英語によるトラブル解決能力、ホスピタリティーを身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ホテル業界で働くにあたって、適格に責任を持って接することの出来るホスピタリティーに満ちた英語でのコミュニケーション能力を培う。				
授業概要	ホテル英会話I 基礎編を教材とする。				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	Lesson 6. Bell Person Dialogue 5/6	
	2	Lesson 1. Greetings Dialogue 1/2	20	Lesson 7. Cloakroom Attendant Dialogue 1/2	
	3	Lesson 1. Greetings Dialogue 3/4	21	Lesson 7. Cloakroom Attendant Dialogue 3	
	4	Lesson 2. Polite Expressions Dialogue 1/2	22	Lesson 8. Front Desk Staff Dialogue 1	
	5	Lesson 2. Polite Expressions Dialogue 3/4	23	Lesson 8. Front Desk Staff Dialogue 2/3	
	6	Lesson 2. Polite Expressions Dialogue 5	24	Lesson 8. Front Desk Staff Dialogue 4/5	
	7	Lesson 3. Expressing Thanks and Apology Dialogue 1/2	25	Lesson 9. Housekeeper Dialogue 1/2	
	8	Lesson 3. Expressing Thanks and Apology Dialogue 3	26	Lesson 9. Housekeeper Dialogue 3/4	
	9	Lesson 4. Expressing Numbers Dialogue 1	27	Lesson10 Restaurant Stuff Dialogue1	
	10	Lesson 4. Expressing Numbers Dialogue 2	28	Lesson10 Restaurant Stuff Dialogue 2	
	11	Lesson 4. Expressing Numbers Dialogue 3	29	Lesson 10 Restaurant Stuff Dialogue 3	
	12	Lesson 5. Doorman Dialogue 1	30	Lesson 10 Restaurant Stuff Dialogue 3	
	13	Lesson 5. Doorman Dialogue 2	31	2nd half Review	
	14	Lesson 5 Doorman Dialogue 3	32	Oral test	
	15	Lesson 5. Doorman Dialogue 4	33	Examination (Oral) for the 2nd half term	
	16	Examination (Oralを含む) for the 1st half term	34	試験解説	
	17	Lesson 6. Bell Person Dialogue 1/2	35	Menu	
18	Lesson 6. Bell Person Dialogue 3/4	36	Total Review		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	相対評価による S,A,B,C 59以下D	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 米国にてTESL(英語教員免許)取得 日米の教員免許所有 グローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた実践的な英語授業を心がけています。				

## シラバス

科目名	ホスピタリティサービス		担当者名	池亀 満枝	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	人間心理、人間関係を大切さを学び、自分自身を見つめ直す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	より良い人間関係を築き、社会人として活躍するために、コミュニケーション能力を向上させる。				
授業概要	人間心理の知識、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力の習得、社会人として活躍するための準備を座学形式で行う。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	謙談語 I、謙談語 II	
	2	ホスピタリティとは、サービスとホスピタリティ	20	使い分け・誤用	
	3	マズローの欲求段階説	21	相手に配慮して伝える(依頼、断りの丁寧な伝え方)	
	4	顧客満足とホスピタリティ	22	相手に配慮して伝える(お詫びの丁寧な伝え方)	
	5	ジョハリの窓	23	違和感を与える表現・信頼感を損ねる口癖	
	6	ストローク	24	好感の持てる話し方	
	7	メラビアンの法則	25	感じの良い聴き方	
	8	人間関係の基本、明るい挨拶・さわやかな返事	26	会話を弾ませるテーマ選び	
	9	挨拶ことば	27	マナーとエチケットの違い、礼儀作法の意味、プロトコールとは	
	10	おしゃれと身だしなみの違い、制服の効果	28	冠婚葬祭とは、冠婚葬祭の意味と行事	
	11	身だしなみワークシート	29	慶事のマナー	
	12	いきいきとした豊かな表情、表情訓練	30	慶事のマナー	
	13	目から入る言葉＝態度	31	祝儀・不祝儀袋	
	14	立ち居振る舞い、基本動作、応用動作	32	弔事のマナー	
	15	敬語の種類	33	食事のマナー	
	16	丁寧語・美化語・改まり語	34	試験	
	17	試験	35	試験解説	
18	尊敬語	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	課題、レポート	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	10%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>10 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	文部科学省、国土交通省、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。				

## シラバス

科目名	パソコン実習 I		担当者名	千葉 輝子	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格相当のスキルを身に付ける。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する)</li> <li>・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)</li> <li>・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける</li> <li>・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける</li> </ul>				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	図の挿入/図形の描画	
	2	ガイダンス	20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	3	ガイダンス	21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	4	科目ガイダンス 各自のPC環境整備	22	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	5	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本	23	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	6	文字入力の基本	24	日商PC検定文書作成検定 試験問題1	
	7	ビジネス文書の書き方(ルールの説明)	25	日商PC検定文書作成検定 試験問題2	
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	日商PC検定文書作成検定 試験問題3	
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	日商PC検定文書作成検定 試験問題4	
	10	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	28	日商PC検定文書作成検定 試験問題5	
	11	ビジネスメール課題	29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1	
	12	表作成の基本	30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2	
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)	31	後期復習問題	
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)	32	期末試験	
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)	33	期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	ビジネス文書課題(表のある文書)	34	ガイダンス	
	17	前期期末試験	35	ガイダンス	
18	前期期末試験の解答解説	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の出入庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

## シラバス

科目名	キャストツアー研究 I		担当者名	福原 初穂	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	国内外にあるリゾート地について調べる。 特に国内で人気のテーマパークから、何故、老若男女を問わず人気があるのかを考察する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	今までの経験・体験から『楽しい場所』だったものを『どのように楽しめるのか・どんな風楽しませているのか』を感じとる。				
授業概要	知識を増やす為の座学と実技の構成。 楽しみながら学んで欲しいので、時期に合わせた試験ではなく、レポート提出や実技テストの実施等を授業内で組み込む。				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	年間スケジュール・自己紹介(各人の印象をみる為のスピーチ)	19	テーマパークについて⑦ 海外&ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	
	2	自己紹介続き	20	テーマパークについて⑧ 海外&ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	
	3	感じの良い話し方① 笑顔チェック・声の大きさ・滑舌等。	21	ディズニー流ホスピタリティ①	
	4	感じの良い話し方② 前週の続き。	22	ディズニー流ホスピタリティ②	
	5	感じの良い話し方③ ジェスチャー	23	ディズニー流ホスピタリティ③	
	6	感じの良い話し方④ 前週の続き。	24	国内の観光地① 調べてレポート作成。(基本、持ち帰らず授業中に行う)	
	7	感じの良い話し方⑤ アイコンタクト	25	国内の観光地②	
	8	感じの良い話し方⑥ 前週の続き。	26	国内の観光地③	
	9	感じの良い話し方⑦ 総まとめ。	27	国内の観光地④	
	10	感じの良い話し方⑧ テスト問題配布。	28	国内の観光地⑤ 発表&レポート提出	
	11	感じの良い話し方⑨ テストに向けて。	29	東京ディズニーリゾートから学ぶ①	
	12	感じの良い話し方⑩ テスト	30	東京ディズニーリゾートから学ぶ②	
	13	テーマパークについて① 定義やこだわり。	31	東京ディズニーリゾートから学ぶ③	
	14	テーマパークについて② 東京ディズニーリゾートから学ぶ。	32	東京ディズニーリゾートから学ぶ④	
	15	テーマパークについて③ 東京ディズニーリゾートから学ぶ。	33	就職活動に向けての話し方①	
	16	テーマパークについて④ 東京ディズニーリゾートから学ぶ。	34	就職活動に向けての話し方②	
	17	テーマパークについて⑤ 東京ディズニーリゾートから学ぶ。	35	就職活動に向けての話し方③	
	18	テーマパークについて⑥ 海外&ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	36	一年間のまとめ	
成績割合	テスト	実技20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	20%	成績評価	出席率(授業態度)と実技テスト、提出物で評価	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	(株)帝国ホテル→(株)オリエンタルランド(東京ディズニーランド)キャスト				

シラバス

科目名	HRS I		担当者名	岡田 朋樹	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	HRS3級合格レベルまで、向上させる。『問題解決能力』を身に付けてもらう。学科、及び、実技の知識と技術の習熟。目標は全員合格。 『自力で問題解決』の手法とその経験を得ることが、最大の目的である。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	HRS3級合格レベルまで、向上させる。				
授業概要	過去問を入手→教科書を調べる(自力で)→回答に行き着く→『自分なりの』答えを出す→授業で発表する→他人の意見を聞く→最終ジャッジをする→修正するところはする(気付く)。この繰り返しで『自己解決能力』を身に付ける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	後期の意義、目的の確認。授業の主旨確認。	
	2	オリエンテーション	20	小テスト1: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	3	オリエンテーション	21	小テスト2: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	4	本授業の目的、趣旨の説明 サービス・パーソンの最大の目的とは?その存在意義とは?	22	小テスト3: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	5	小テスト1: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	23	小テスト4: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	6	小テスト2: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	24	小テスト5: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	7	小テスト3: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	25	小テスト6: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	8	小テスト4: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	26	総括テスト1: テスト100問	
	9	小テスト5: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	27	小テスト7: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	10	小テスト6: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	28	小テスト8: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	11	総括テスト1 (小テストの1~6)	29	小テスト9: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	12	小テスト7: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	30	小テスト10: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	13	小テスト8: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	31	小テスト11: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	
	14	小テスト9: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	32	総括テスト2: テスト100問	
	15	小テスト10: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	33	総括テスト3: テスト100問	
	16	小テスト11: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	34	ふりかえり・まとめ	
	17	総括テスト2 (小テストの7~11)	35	ふりかえり・まとめ	
18	総括テスト1,2の最終テスト	36	ふりかえり・まとめ		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	ホテル椿山荘東京にて現在も勤務。 フォーシーズンズホテル椿山荘東京のメインダイニング『イルテアトロ・ピストロ』のマネージャー兼ソムリエを勤めた。 以下、保有資格】				

## シラバス

科目名	プレゼンテーション技法		担当者名	桶舎 大介	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	後期 必選	授 業 時 間 数	18時間
授業目的	基本的なプレゼンテーションスキルの習得。 講義終了時にはプレゼンテーションに自信を持ち、 社会人として必要な能力を体得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	対面での話し方、立ち居振る舞い、資料作成等のスキル習得が目標。 特に人前で話すことへの抵抗感をなくし、余裕を持ったプレゼンテーションが出来ること。				
授業概要	プレゼンテーションの基礎となる3項目(表現方法・構成・資料作り)を重点的に学ぶ。 実際の企業プレゼンテーションやTED Talkを通して、見本となる技法を取り入れる。 また構成・資料作りに関してはオーディエンス目線に重きを置いた、PPTを作成する。 なお本授業は後期から開講し、隔週開催となるため、 19回目以降、対面・課題レポートを交互に行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	プレゼンテーションの目的、目標とは	20		
	3	レポート課題	21		
	4	良いプレゼン、悪いプレゼン プレゼンテーションの見本、参考資料の紹介	22		
	5	レポート課題	23		
	6	アイズブレイクの重要性 オーディエンスとの距離感、一体感の作り方	24		
	7	レポート課題	25		
	8	話し方、立ち居振る舞い、アイコンタクトの重要性	26		
	9	レポート課題	27		
	10	PPT資料作りのポイント	28		
	11	レポート課題	29		
	12	プレゼンテーションにおける数字(データ)の活用方法	30		
	13	レポート課題	31		
	14	各自プレゼンテーション実施	32		
	15	レポート課題	33		
	16	各自プレゼンテーション実施	34		
	17	レポート課題	35		
18	授業まとめ/振り返り	36			
成 績 割 合	テスト	60%	学習FB方法	前期:レポート・個別プレゼンテーション 後期:レポート・グループプレゼンテーション それぞれの実施返却をもってFBを行う	
	学習態度・出席率	10%		成績評価	出席率80%以上 S 100-90 A 89-80 B 79-70 C 69-60 D 59以下は不合格
	レポート	30%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>100 R<実働実践型学習>80 A<主体的参加型学習>80 G<海外体感型学習>75				
講師プロフィール	新卒で株式会社帝国ホテルに入社、宿泊部にてゲストサービスやフロント(6年)に在籍。在職中は政界・経済界等の要人対応や、フロント業務に従事。2016年より大手欧州系航空会社にて法人営業・マーケティングに従事。法人営業では国内外企業向けにプロダクトのプレゼンテーションや、RFP/入札交渉、航空運賃策定など。マーケティング業務として、世界各地の観光局やホテルと協同し、日本からの渡航者増加を目的としたブランニングや、各種イベントの立案催行を行				

## シラバス

科目名	観光地理		担当者名	金田一 栄子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	主要な国、その国にある観光資源について基本的な知識を学ぶ。また、世界各地のホテルについても広い視野で考えられるようになる。				
授業概要	座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。調べた成果は発表し、全体で共有していく。また、プランニングも行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業の概要	19	ドイツ	
	2	世界の国々と首都	20	スペイン・ポルトガル ギリシャ	
	3	アメリカ	21	中欧諸国	
	4	ハワイ	22	北欧諸国・ロシア	
	5	カナダ・メキシコ	23	地域研究 ヨーロッパ2	
	6	地域研究 北アメリカ	24	地域研究 ヨーロッパ2	
	7	地域研究 ハワイ	25	アジア) 全体の地勢	
	8	オーストラリア・ニュージーランド	26	韓国	
	9	太平洋の島々	27	中国	
	10	地域研究 オセアニア	28	台湾・香港	
	11	地域研究 オセアニア	29	タイ・シンガポール	
	12	欧) 全体の地勢	30	マレーシア・フィリピン	
	13	英国	31	カンボジア・ベトナム	
	14	フランス・スイス	32	地域研究 東南アジア2	
	15	イタリア	33	地域研究 東南アジア2	
	16	地域研究 ヨーロッパ1	34	世界遺産(中南米)	
	17	地域研究 ヨーロッパ1	35	世界遺産(中近東・アフリカ)	
	18	確認テスト・まとめ1	36	確認テスト	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期成績表配布 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	40%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>20				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。				

## シラバス

科目名	ビジネスマナー		担当者名	相川 奏恵	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■就活力を身につける</li> <li>■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける</li> <li>■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる</li> </ul>				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③	
	2	就活・面接・企業研究シート	20	来客応対・名刺・紹介のマナー	
	3	自己分析・リフレーミング	21	バリアフリー①アシスト	
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	バリアフリー②ハラスメント	
	5	敬語①	23	ビジネス文書①	
	6	敬語②	24	ビジネス文書②	
	7	敬語③	25	クレーム対応①	
	8	敬語テスト・解説	26	クレーム対応②	
	9	ソーシャルスキル①	27	顧客心理	
	10	ソーシャルスキル②	28	ストローク	
	11	文章上達①	29	知って得する社会のマナー	
	12	文章上達②	30	指示命令の受け方と報連相	
	13	創造力①	31	ビジネス文書①	
	14	創造力②	32	ビジネス文書②	
	15	創造力③	33	上手な仕事の進め方①	
	16	会社の使命・社員の役割	34	上手な仕事の進め方②	
	17	電話応対①	35	段取り力・8つの意識	
18	電話応対②	36	上手な指導の受け方・愛される社員になる		
成 績 割 合	テスト	80%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は 不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、各市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA他				



## シラバス

科目名	バー・ビバレッジ概論		担当者名	藤沢 美英	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	飲食業界で必要な料飲の知識やマナーを習得し、広範囲なスキルとして身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	将来、社会に出て様々な職業に従事する際、常識的な知識や技術を役立てることができる人材に育成する。				
授業概要	料理、食材、酒類、カクテル、マナー、食文化等できるだけ幅広い知識を、卒業後も記憶に残るような授業を目指します。座学中心の授業になりますが、学ぶ人の興味を喚起するような内容を行います。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	世界各国の法定飲酒年齢の違いと意味。お酒とは何か。人がお酒に酔う理屈。	19	ウイスキーの種類。	
	2	ホテルのBarへ行ってみよう。お酒の飲み方、マナーについて。	20	ウイスキー蒸留方法。	
	3	結婚式での飲料提案。飲食業で使用される符帳について。	21	前菜の種類。	
	4	ブドウ畑の産地と仕組み。覚えておくべきブドウの品種。梅シロップの造り方。	22	テキーラの歴史、蒸留方法。	
	5	ワインの醸造方法。覚えておくべき有名な高級ワイン。	23	旬の意味。	
	6	ボジョレー・ヌーヴォー解説。	24	フルーツの美味しい季節とは。	
	7	ビールの歴史、麦芽、醸造の過程について。美味しい飲み方。 飲用温度。	25	フルーツの美味しい部分とその理由。	
	8	世界の三大珍味のトリュフ、フォアグラ解説。	26	季節によって魚には美味しい季節がある。	
	9	世界の三大珍味のキャビア解説。最近話題の高級ウイスキーの解説。	27	季節によって野菜には美味しい季節がある。	
	10	シャンパーニュ、貴腐ワインの醸造方法、飲用温度。	28	世界各国、クリスマスの料理が異なる理由と食文化。	
	11	麦、豆、穀類の基本。食材としての利用され方。	29	天然氷。 製氷機の無かった時代の氷の調達方法。	
	12	軟水と硬水の解説。	30	ホットカクテル	
	13	日本の三大珍味の解説、有名なスープの解説。	31	ホットドリンク 冬場に美味しい温かいドリンク類。	
	14	サラダの種類、マスタードの原料から解説。	32	食物アレルギーとその対処方法。	
	15	チーズの解説。飲食業界で良く使用される符帳の解説、使用する意味。	33	世界各国にある食のタブー解説。食文化で注意する事。	
	16	ハム、ソーセージの種類と作り方。肉屋さんで売っている肉の部位の解説。	34	原料糖、低温調理	
	17	前期試験	35	定期試験	
18	肉類の解説。ステーキの焼き方と外見からの見た目。	36	一年のまとめ。フルーツカット。		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	小テスト 10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>40%				
講師プロフィール	帝国ホテル東京レストラン部バーテンダーとして38年間従事。所持資格(社)国家技能検定1級レストランサービス技能士、(社)日本ソムリエ協会・ソムリエ呼称資格認定、調理師免許 日本ホテルバーメンズ協会・シニアバーメン				

## シラバス

科目名	ITリテラシー		担当者名	千葉 輝子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	トラブルに巻き込まれない、トラブルを起こさない人材の育成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ITリテラシーを身に付け、情報の取捨選択ができるようになる				
授業概要	情報リテラシー 情報を正しく使うための能力 ネットワークリテラシー ネットワークやセキュリティに関する知識 コンピュータリテラシー パソコンやスマホなどのツールを使いこなす能力 を身に付ける				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	情報化社会のモラルとセキュリティ	
	2	ビジネスメールのルール1	20	情報化社会のモラルとセキュリティ	
	3	ビジネスメールのルール2	21	情報化社会のモラルとセキュリティ	
	4	ビジネスメール課題	22	情報化社会のモラルとセキュリティ	
	5	ビジネスメール課題	23	ネット社会に潜む危険と対策	
	6	ビジネスメール課題	24	ネット社会に潜む危険と対策	
	7	コンピュータシステム	25	モバイル機器の活用と管理	
	8	コンピュータシステム	26	モバイル機器の活用と管理	
	9	コンピュータシステム	27	ネットワークの仕組み	
	10	コンピュータシステム	28	ネットワークの仕組み	
	11	個人情報と知的財産	29	ネットワークの仕組み	
	12	個人情報と知的財産	30	ITパスポート抜粋問題	
	13	個人情報と知的財産	31	ITパスポート抜粋問題	
	14	情報サービスとセキュリティ	32	ITパスポート抜粋問題	
	15	情報サービスとセキュリティ	33	ITパスポート抜粋問題	
	16	情報サービスとセキュリティ	34	ITパスポート抜粋問題	
	17	前期期末試験	35	学年末試験	
18	前期期末試験の解答解説	36	学年末試験の解答解説		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

シラバス

科目名	異文化コミュニケーションⅡ		担当者名	富手 貴子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	1. 各国の概要や社会習慣を学んだ上で、自身のテーマについて各国の事情を調べることにより、海外の業界動向への興味・関心を喚起するとともに、今後の多文化社会におけるお客様の多様なニーズやウォンツに対して質の高いサービスが提供できる力を養う。 2. 比較研究やWebサイト制作・発表の体験を通して、企画力・創造力や、インターネットでの海外情報検索力・収集力・分析力・発信力を高める。3. 比較研究の基礎的な手法を理解し実践することで、思考力を鍛えるとともに、専門領域の差別化を図り、就職時の競				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 各国の基礎的な概要や社会習慣、テーマに関する業界知識を身に付けている。 2. インターネットを使って海外の情報を幅広く検索し、収集した情報を活用することができる。 3. 志望業界に関連した研究テーマを自ら設定し、比較研究の基礎的な手法を理解し、実践することができる。				
授業概要	1. 各国の概要や社会習慣等の知識を得た後に、志望業界と関連する各自の研究テーマに沿った情報を収集し、オリジナルのデザインとコンテンツからなる海外業界比較研究サイトを制作し、発表する。 2. 比較研究の基礎的な手法やテーマ設定方法、海外情報検索のコツや便利な機能、Webサイト制作方法等を適宜学ぶ。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	発表②	
	2	オリエンテーション②	20	振り返り	
	3	テーマ設定、Webサイト作成と主な機能①	21	国4:概説、各自で情報収集	
	4	テーマ設定、Webサイト作成と主な機能②	22	国4:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク①	
	5	国1:概説、各自で情報収集	23	国4:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク②	
	6	国1:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク①	24	国4:発表とフィードバック	
	7	国1:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク②	25	国5:概説、各自で情報収集	
	8	国1:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク③	26	国5:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク①	
	9	国1:発表とフィードバック	27	国5:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク②	
	10	国2:概説、各自で情報収集	28	国5:発表とフィードバック	
	11	国2:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク①	29	トップページ各自で情報収集、ページ制作、グループワーク①	
	12	国2:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク②	30	トップページ各自で情報収集、ページ制作、グループワーク②	
	13	国2:発表とフィードバック	31	トップページ各自で情報収集、ページ制作、グループワーク③	
	14	国3:概説、各自で情報収集	32	全体修正①	
	15	国3:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク①	33	全体修正②	
	16	国3:各自で情報収集、ページ制作、グループワーク②	34	発表①	
	17	国3:発表とフィードバック	35	発表②	
18	発表①	36	振り返り		
成績割合	テスト	50(制作物・発表)	学習FB方法	成績評価	授業への出席、態度・参加度、グループワーク、制作物、発表、フィードバック等で総合的に評価する。
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20(提出物・小テスト等)			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>70 G<<海外体感型学習>>60				
講師プロフィール	前職ではグローバルIT企業のコーポレート戦略総括本部にてインターナショナル・コミュニケーション、前々職では大手日系IT企業にて全社グローバル人材育成施策の企画・運営、研修設計・開発を担当。20代前半から海外に計15年間滞在。オーストラリアではツアーガイドとしてトップセールス、カナダでは現地ホテル勤務の傍らで、日系企業の現地新規事業企画・立ち上げを単独で行う。プライベートでは、学生時代から多数の国際交流ボランティア活動、中国で3か月間のインターンシップ、1年間の世界一周ひとり旅経験あり。カナダの高校卒業単位取得時には、主席卒業でカナダ総督よりメダル授与。帰国後、高等学校教員免許(英語)取得。				

## シラバス

科目名	英会話ⅡB		担当者名	スラヤ タスノバ	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	"授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト				
授業概要	"コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業 です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をおおして、英語を基礎から学びます。自分 にあっているレベルで参加して、進むことができます。また、さまざまな国籍の教員から、世界の出来事についての意見 を聞き、文化や歴史の違いを感じることが出来る				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Units 1/2 Lesson A	19	Test 7/8	
	2	Units 1/2 Lesson B	20	Test 7/8	
	3	Units 1/2 Lesson C	21	Units 9/10 Lesson A	
	4	Test 1/2	22	Units 9/10 Lesson B	
	5	Test 1/2	23	Units 9/10 Lesson C	
	6	Units 3/4 Lesson A	24	Test 9/10	
	7	Units 3/4 Lesson B	25	Test 9/10	
	8	Units 3/4 Lesson C	26	Units 11/12 Lesson A	
	9	Test 3/4	27	Units 11/12 Lesson B	
	10	Test 3/4	28	Units 11/12 Lesson C	
	11	Units 5/6 Lesson A	29	Test 11/12	
	12	Units 5/6 Lesson B	30	Test 11/12	
	13	Units 5/6 Lesson C	31	discussion	
	14	Test 5/6	32	discussion	
	15	Test 5/6	33	discussion	
	16	Units 7/8 Lesson A	34	discussion	
	17	Units 7/8 Lesson B	35	discussion	
	18	Units 7/8 Lesson C	36	discussion	
成績割合	テスト	75%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	25%			
	レポート	0%	成績評価	会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>80%				
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカーによる授業				

## シラバス

科目名	英会話ⅡB		担当者名	CHAN ERNEST		
学 科	ホテル科		授業方法	実習		
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。					
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	Unit 2 Lesson A	19	Unit 8 Lesson A		
	2	Unit 2 Lesson B	20	Unit 8 Lesson B		
	3	Unit 2 Lesson C	21	Unit 8 Lesson C		
	4	Unit 2 Lesson D	22	Unit 8 Lesson D		
	5	Speaking Test	23	Speaking Test		
	6	Speaking Test	24	Speaking Test		
	7	Unit 4 Lesson A	25	Unit 10 Lesson A		
	8	Unit 4 Lesson B	26	Unit 10 Lesson B		
	9	Unit 4 Lesson C	27	Unit 10 Lesson C		
	10	Unit 4 Lesson D	28	Unit 10 Lesson D		
	11	Speaking Test	29	Speaking Test		
	12	Speaking Test	30	Speaking Test		
	13	Unit 6 Lesson A	31	Unit 12 Lesson A		
	14	Unit 6 Lesson B	32	Unit 12 Lesson B		
	15	Unit 6 Lesson C	33	Unit 12 Lesson C		
	16	Unit 6 Lesson D	34	Unit 12 Lesson D		
	17	Speaking Test	35	Speaking Test		
18	Speaking Test	36	Speaking Test			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assitant and promoted to teacher.					

## シラバス

科目名	英会話ⅡB		担当者名	Jina McCullough	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	"授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト				
授業概要	"コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業 です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をおおして、英語を基礎から学びます。自分 にあっているレベルで参加して、進むことができます。また、さまざまな国籍の教員から、世界の出来事についての意見 を聞き、文化や歴史の違いを感じることが出来る				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Units 1/2 Lesson A	19	Test 7/8	
	2	Units 1/2 Lesson B	20	Test 7/8	
	3	Units 1/2 Lesson C	21	Units 9/10 Lesson A	
	4	Test 1/2	22	Units 9/10 Lesson B	
	5	Test 1/2	23	Units 9/10 Lesson C	
	6	Units 3/4 Lesson A	24	Test 9/10	
	7	Units 3/4 Lesson B	25	Test 9/10	
	8	Units 3/4 Lesson C	26	Units 11/12 Lesson A	
	9	Test 3/4	27	Units 11/12 Lesson B	
	10	Test 3/4	28	Units 11/12 Lesson C	
	11	Units 5/6 Lesson A	29	Test 11/12	
	12	Units 5/6 Lesson B	30	Test 11/12	
	13	Units 5/6 Lesson C	31	discussion	
	14	Test 5/6	32	discussion	
	15	Test 5/6	33	discussion	
	16	Units 7/8 Lesson A	34	discussion	
	17	Units 7/8 Lesson B	35	discussion	
	18	Units 7/8 Lesson C	36	discussion	
成績割合	テスト	75%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	25%			
	レポート	0%	成績評価	会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>80%				
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー				

## シラバス

科目名	TOEIC II		担当者名	鈴木 良	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	もう一度、英語を基礎からやり直し、TOEIC テストで 400以上取得できる能力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEIC のリスニング 250(100問中約55問正解)、リーディング 150(100問中約40問正解)を取得できるようにする。				
授業概要	実際の TOEIC L&R テストに近い問題を使用し、演習を行う。基礎的な単語を身につけるため、毎回単語小テストを行う。また英語学習に対するモチベーションを維持するため、問題に絡めて様々なアクティビティーを行う。学習効果を最大限に高めるためには、毎週の単語テストの準備を疎かにせず、しっかり宿題を行い次の授業への準備を行い、授業後は解いた問題を自分で復習することが極めて大事である。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	授業の説明・目標、プラクティス(旧) (リスニング)U1「人物の描写」	19	模試(リーディング)	
	2	プラクティス(旧) (リスニング)U1「人物の描写」	20	プラクティス(旧) (リスニング)U10「Workplace & Business」 Conversation A、ドリル「前置詞」	
	3	Dictation exam 1、プラクティス(旧) (リスニング) Challenge 2、ドリル「主述の一致」	21	プラクティス(旧) (リスニング)U10「Workplace & Business」 Conversation B & C、ドリル「	
	4	プラクティス(旧) (リスニング)U4「Part 2 における質問の種類」、ドリル「品詞」	22	プラクティス(旧) (リスニング)U13「Announcements」Talk A、ドリル「動名詞」	
	5	プラクティス(旧) (リスニング)U5「WH 疑問文」、ドリル「修飾(品詞の役割)」	23	プラクティス(旧) (リスニング)U13「Announcements」Talk B & C、ドリル「不定詞」	
	6	Vocabulary exam 1、プラクティス(旧) (リスニング)U6「Yes/No 疑問文・選択疑問文」、ドリル「代名詞」	24	Vocabulary exam 4、プラクティス(旧) (リスニング)U3「人物の動作と状況の描写」、ドリル「使役動詞」	
	7	プラクティス(旧) (リスニング)U7「依頼・許可・提案・勧誘の文」、ドリル「代名詞」	25	U11「Personnel & Training」Conversation A、ドリル「自動詞・他動詞」	
	8	予備 (IW)	26	U11「Personnel & Training」Conversation B & C、ドリル「比較」	
	9	予備 (IW)	27	U14「Advertisements & Talks」Talk A、ドリル「関係詞1(関係代名詞)」	
	10	プラクティス(旧) (リスニング)U8「付加疑問文と否定疑問文・肯定文と否定文」、ドリル「現在形・現在進行形」	28	予備(ホテル見学)	
	11	Vocabulary exam 2、プラクティス(旧) (リスニング)U9「Society & Life」Conversation	29	プラクティス(旧) (リスニング)U14「Advertisements & Talks」Talk B & C、ドリル「関係詞2」	
	12	プラクティス(旧) (リスニング)U9「Society & Life」 Conversation B & C、ドリル「未来のことを表	30	Vocabulary exam 5、ドリル「仮定法」「分詞」	
	13	プラクティス(旧) (リスニング)U12「Telephone Messages」 Talk A、ドリル「接続詞」	31	ドリル「その他」、模試(リスニング)	
	14	プラクティス(旧) (リスニング)U12「Telephone Messages」 Talk B & C、ドリル「未来のことを表す表現	32	模試(リーディング)	
	15	プラクティス(旧) (リスニング)U2「物の描写」、ドリル「接続詞」	33	復習	
	16	まとめ	34	まとめ	
	17	前期期末試験	35	後期期末試験	
18	Vocabulary exam 3、模試(リスニング)	36	Vocabulary exam 6、試験返却		
成績割合	テスト	10%(学期末)、 50%(単語小テスト+単語テスト)	学習FB方法	Microsoft Teams	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	30%	成績評価	単語小テスト等の小テスト、宿題、定期試験(前期・後期)、平常点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テストスコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得				

## シラバス

科目名	TOEIC II		担当者名	山下 るみ	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	TOEICの学習を通して、英語の基礎力、理解力を高め、国際的なコミュニケーションスキルを身につける。さらに英語の学習を通して、異文化への関心と理解を深め、より広い視野を持てるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEICのストラテジーを実践を通して身につけると同時に、ボキャブラリー、リスニング力、文法力、読解力の底上げをし、TOEIC 500点～700点をを目指す。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC で頻出のボキャブラリー、フレーズを修得する。</li> <li>・文法の基礎を確認しながら、トレーニング問題をやっていく。</li> <li>・リスニング、リーディング両方のストラテジーを実践を通して身につける。</li> </ul>				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Part 1 で出てくる人や物の描写の説明の仕方の学習、ボキャブラリー	19	Part 5 演習(短文穴埋め)、ボキャブラリー、文法	
	2	Part 1 で出てくる人や物の描写の説明の仕方の学習、ボキャブラリー	20	Part 5 演習(短文穴埋め)、ボキャブラリー、文法	
	3	Part 1 で出てくる人や物の描写の説明の仕方の学習、ボキャブラリー	21	Part 6 演習(長文穴埋め)、ボキャブラリー、文法	
	4	Part 2で出てくる質問文のパターンの学習、文法、ボキャブラリー	22	Part 6 演習(長文穴埋め)、ボキャブラリー、文法	
	5	Part 2で出てくる質問文のパターンの学習、文法、ボキャブラリー	23	Part 7 演習(読解問題)、ボキャブラリー、文法	
	6	Part 2で出てくる質問文のパターンの学習、文法、ボキャブラリー	24	Part 7 演習(読解問題)、ボキャブラリー、文法	
	7	Part 3で出てくる会話問題、概要を捉える練習、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	25	Part 7 演習(読解問題)、ボキャブラリー、文法	
	8	Part 3で出てくる会話問題、概要を捉える練習、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	26	復習、模試1	
	9	Part 3で出てくる会話問題、概要を捉える練習、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	27	復習、模試2	
	10	Part 4で出てくる説明文問題、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	28	復習、模試3	
	11	Part 4で出てくる説明文問題、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	29	後期期末テスト	
	12	Part 4で出てくる説明文問題、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	30	テスト返却	
	13	復習	31		
	14	前期期末テスト	32		
	15	テスト返却	33		
	16	Part 4で出てくる説明文問題、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	34		
	17	リスニング模試、ボキャブラリー、文法	35		
18	Part 5 演習(短文穴埋め)、ボキャブラリー、文法	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	提出された課題については Microsoft Teams 等を通してフィードバックする。 期末テスト40%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・課題50%	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	幼少の頃よりオーストラリアと日本を行き来し、双方の学校に通う。上智大学でジャーナリズム専攻。本校英語講師9年目、その前には幼児英語教育に携わっていました。				



## シラバス

科目名	宿泊実習Ⅱ		担当者名	三橋 綾子	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	ホテルの三大オペレーションの一つである宿泊部門について、各部署ごとにその役割と基本業務を学びます。ホスピタリティ溢れる接客を自ら実践できるようにホテルスタッフの心構えを習得します。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	フロントオフィス関連の知識の習得を目標とします。予約業務の重要性や基本的な宿泊料金の構成、ホテルの収益の重要な柱であるレベニュー部門の業務を理解します。				
授業概要	講義形式を基本とし、ディスカッションやロールプレイングを通してホテルの接客スキルを理解し身につけます。宿泊オペレーションの中心的役割であるフロントオフィスの業務を理解します。宿泊予約の重要性を理解し、予約業務では言葉遣いや客室販売のテクニックを学び、自分なりの接客で電話予約の実技テストをします。また、魅力的な宿泊パッケージを企画します。レセプション業務とキャッシャー業務では客室稼働率の算出や、宿泊料金の計算方法を学びます。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	授業概要 Front Officeの心構え	19	コンプレイン対応 詫言状を書く	
	2	組織図と業務 客室タイプ	20	レセプション業務と心構え 接客マナー	
	3	料金システム 特別料金	21	ルームキーの種類と管理	
	4	予約業務 商品特性	22	ルームアサインメントとは ルームアサインメント	
	5	Revenue Management Forecastの重要性	23	オーバーブッキング対応	
	6	予約の種類 ホテルシステム	24	チェックイン業務	
	7	電話予約の基本	25	実技「チェックイン」① 台本作成・練習	
	8	実技「電話予約対応シミュレーション」① 台本作成	26	実技「チェックイン」② 練習・テスト	
	9	実技「電話予約対応シミュレーション」② 台本作成	27	実技「チェックイン」③ テスト	
	10	実技「電話予約対応シミュレーション」③ 発表	28	実技「チェックイン」④ テスト	
	11	実技「電話予約対応シミュレーション」④ 発表	29	Walk in ルームチェンジ	
	12	課題「宿泊パッケージの企画」①	30	ナイト業務 Batch	
	13	課題「宿泊パッケージの企画」② 提出	31	ルームアーニング Daily Room Report	
	14	団体予約	32	キャッシャー業務 チェックアウト	
	15	その他業務	33	精算方法 サービス料と税金	
	16	まとめ	34	宿泊料金計算とブレイクダウン	
	17	筆記試験	35	筆記試験	
18	筆記試験返却 フィードバック	36	筆記試験返却 フィードバック		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期試験実施後、試験返却をもって フィードバックとします	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	都内のホテルにて客室課・宿泊予約課・フロントオペレーションなど宿泊部門を中心に勤務した後、観光系専門学校や大学にてホテル宿泊部門の授業を担当				

## シラバス

科目名	ビジネススキルⅡ		担当者名	山本 慶子	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	自分の卒後ビジョンを作成し、基本的なビジネススキル(働くうえで必要な能力のこと)を身につけ、進級・卒業・就職という大きな流れを意識しそれぞれの夢をかかなえる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	2年次における、卒後ビジョンを作成し、それに必要な学びや社会人基礎力をテクノスや社会の中で見つけ、実践していく。				
授業概要					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	後期の講義内容に関して&個人面談	
	2	内定後の過ごし方&個人面談①	20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル	
	3	一般常識ワーク&個人面談②	21	一般常識ワーク&個人面談①	
	4	ビジネス書読書&個人面談③	22	一般常識ワーク&個人面談②	
	5	【自習】目指す業界の未来を考える&個別面談	23	ビジネス書読書&個人面談③	
	6	【自習】企業研究(国内外)&個人面談	24	トークセッション(OBOGを招いて:社会人予備軍対象)	
	7	目指す業界の未来を発表する	25	前期で上がった課題に関するワーク	
	8	【自習】第二志望の業界を調べる&個人面談	26	就職後の目標設定①	
	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える&個人面談	27	就職後の目標設定②	
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)&個人面談	28	コミュニケーションスキル①聴く力	
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)&個人面談	29	コミュニケーションスキル②理解する力	
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)&個人面談	30	コミュニケーションスキル③伝える力	
	13	海外で働くことをイメージ	31	個人面談④ 卒後ビジョンを基に	
	14	一般常識ワーク&個人面談④	32	個人面談⑤ 卒後ビジョンを基に	
	15	一般常識ワーク&個人面談⑤	33	個人面談⑥ 卒後ビジョンを基に	
	16	前期 振り返りと課題発見	34	まとめ1	
	17	後期の課題解決に向けたGD	35	まとめ2	
18	前期 振り返り	36	まとめ3		
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	都内の日系ホテルと外資系ホテルにて勤務。レストランサービスやカスタマーサービスなどのオペレーション部門、人事採用担当、レストランオフィス、マーケティングなどの管理部門の両方での実務経験を持つ。中学・高校教員免許(英語)保持。				

## シラバス

科目名	接遇手話Ⅱ		担当者名	伊勢 正子	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	① 聴覚障がいについて理解を深める。 ② 手話での基礎的な日常会話を習得しコミュニケーション力を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日常会話の手話語彙の習得。接遇手話の学習。聴覚障がい者への対応技術を学ぶ。				
授業概要	聴覚障がい者に配慮したサービスのあり方などの座学。 日常会話や接遇手話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。				
授業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	基本の復習と確認【自己紹介・指文字/数字】	19	接遇手話(レストランでの接客)	
	2	基本の復習と確認 (疑問詞を使った会話練習)	20	接遇手話(窓口での接客)	
	3	基本の復習と確認 (疑問詞を使った会話練習)	21	接遇手話(デパートでの接客)	
	4	基本の復習と確認 (疑問詞を使った会話練習)	22	接遇手話(ホテルのフロントでの接客)	
	5	日常会話/例文練習	23	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)	
	6	日常会話/例文練習	24	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて 小テスト	
	7	接遇手話(接遇に関する単語等)	25	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	8	接遇手話(接遇に関する単語等)	26	後期の復習	
	9	接遇手話(接客に関する簡単な会話練習)	27	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)	
	10	接遇手話(接客に関する簡単な会話練習)	28	時節の手話	
	11	前期の復習(接遇の小テスト)	29	時節の手話	
	12	前期これまで学習した単語等の復習	30	1年間の復習	
	13	理論・・・聴覚障がい者について(日常生活・法律) レポートの提出	31	1年間の復習・小テスト	
	14	前期の復習	32	1年間の復習	
	15	前期の復習(単語の小テスト)	33	1年間のまとめ	
	16	前期末試験(表出試験)	34	学年末試験(表出試験)	
	17	前期末試験(読み取り/筆記試験)	35	学年末試験(読み取り・書き取り試験)	
18	前期試験の返却/解説・振り返り	36	試験の返却/解説		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO 法人東京都中途失聴・難聴者協会 発行) 出席率80%以上 s 90~100点 A 80~89点 B 70~79点 c 60 ~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話講習会等で手話指導経験を積んでいる。				

## シラバス

科目名	応用ゼミ		担当者名	山本 慶子	
学 科	ホテル科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	宿泊業・ホテル業についてビジネスの視点を持ち、ホテルビジネスについての知識と理解を深める。グループワークを主とすることで、主体性と協働力を養い、ビジネスパーソンとして求められるスキルを正しく理解することを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	【都内ホテルへの企画提案】 都内ホテルで学びの場として協力してくださるホテルを開拓し、実在するホテルにおける観光需要予測や販売ターゲットの立案を行う。授業終盤には1年の集大成として、企業に対し企画提案を行う。				
授業概要	1年間を通して、マーケティングに関する基本的な知識の習得、プレゼンテーションの力を深める。 前期は毎回のグループワークを通じて他者の良い点に気づき、自身の成長へとつなげる。後期に、実際のホテルに対してビジネスプランを提案し、商品化を目標として実践的なグループワークを行う。				
授業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション グループワークのルール	19	応用ゼミ主題に向けたグループワーク	
	2	マーケティングの基本とSTP	20	応用ゼミ主題に向けたグループワーク	
	3	SWOT分析	21	応用ゼミ主題に向けたグループワーク	
	4	マーケティングリサーチとデータ収集とは	22	仮企画発表、クラス内プレゼン実施	
	5	4P, 4C分析とアパレルブランドにおける事例	23	クラス内プレゼンのフィードバック	
	6	ターゲットの重要性	24	応用ゼミ主題に向けたグループワーク	
	7	ゲストスピーカー	25	応用ゼミ主題に向けたグループワーク	
	8	グループ分けとコンセンサスゲーム	26	応用ゼミ主題に向けたグループワーク	
	9	ゼミ主題に向けてのブレインストーミング	27	応用ゼミ主題に向けたグループワーク	
	10	ゼミ主題に向けてのブレインストーミング2	28	学内プレゼンテーション	
	11	グループワーク、エクセルを用いたアイデアの見える化	29	マーケティングのステップに基づく、プロモーション策定	
	12	グループワーク、エクセルを用いたアイデアの見える化2	30	マーケティングのステップに基づく、プロモーション策定	
	13	企画策定に向けてアイデア集約、ターゲット、夏季休暇中の課題発表	31	プレゼンテーション練習(話し方・目線等)	
	14	夏季休暇の個人課題発表	32	プレゼンテーション練習(話し方・目線等)	
	15	夏季休暇の個人課題発表2	33	最終プレゼン前リハーサル	
	16	ターゲットに対する、最適なコミュニケーションは何か。また各世代におけるSNS利用状況とプロモーションについて	34	企業(都内ホテル)へのプレゼンテーション	
	17	フィールドワーク(仮)	35	企業提案の結果とまとめ	
18	フィールドワーク(仮)	36	授業まとめ/振り返り		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期:360度評価、プレゼンテーション 後期:360度評価、グループプレゼンテーション それぞれの実施返却をもってFBを行う	
	学習態度・出席率	20%		成績評価	出席率80%以上 S 100-90 A 89-80 B 79-70 C 69-60 D 59以下は不合格
	レポート	30%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100 R<<実働実践型学習>>80 A<<主体的参加型学習>>80 G<<海外体感型学習>>75				
講師プロフィール	都内の日系ホテルと外資系ホテルにて勤務。レストランサービスやカスタマーサービスなどのオペレーション部門、人事採用担当、レストランオフィス、マーケティングなどの管理部門の両方での実務経験を持つ。中学・高校教員免許(英語)保持。				

## シラバス

科目名	英会話ⅡA		担当者名	Jina McCullough	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。				
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Unit 2 Lesson A	19	Unit 8 Lesson A	
	2	Unit 2 Lesson B	20	Unit 8 Lesson B	
	3	Unit 2 Lesson C	21	Unit 8 Lesson C	
	4	Unit 2 Lesson D	22	Unit 8 Lesson D	
	5	Speaking Test	23	Speaking Test	
	6	Speaking Test	24	Speaking Test	
	7	Unit 4 Lesson A	25	Unit 10 Lesson A	
	8	Unit 4 Lesson B	26	Unit 10 Lesson B	
	9	Unit 4 Lesson C	27	Unit 10 Lesson C	
	10	Unit 4 Lesson D	28	Unit 10 Lesson D	
	11	Speaking Test	29	Speaking Test	
	12	Speaking Test	30	Speaking Test	
	13	Unit 6 Lesson A	31	Unit 12 Lesson A	
	14	Unit 6 Lesson B	32	Unit 12 Lesson B	
	15	Unit 6 Lesson C	33	Unit 12 Lesson C	
	16	Unit 6 Lesson D	34	Unit 12 Lesson D	
	17	Speaking Test	35	Speaking Test	
18	Speaking Test	36	Speaking Test		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第= 59%-下	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	英会話ⅡA		担当者名	スラヤ タスノバ	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	"授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト				
授業概要	"コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業 です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をおおして、英語を基礎から学びます。自分 にあっているレベルで参加して、進むことができます。また、さまざまな国籍の教員から、世界の出来事についての意見 を聞き、文化や歴史の違いを感じることが出来る				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Units 1/2 Lesson A	19	Test 7/8	
	2	Units 1/2 Lesson B	20	Test 7/8	
	3	Units 1/2 Lesson C	21	Units 9/10 Lesson A	
	4	Test 1/2	22	Units 9/10 Lesson B	
	5	Test 1/2	23	Units 9/10 Lesson C	
	6	Units 3/4 Lesson A	24	Test 9/10	
	7	Units 3/4 Lesson B	25	Test 9/10	
	8	Units 3/4 Lesson C	26	Units 11/12 Lesson A	
	9	Test 3/4	27	Units 11/12 Lesson B	
	10	Test 3/4	28	Units 11/12 Lesson C	
	11	Units 5/6 Lesson A	29	Test 11/12	
	12	Units 5/6 Lesson B	30	Test 11/12	
	13	Units 5/6 Lesson C	31	discussion	
	14	Test 5/6	32	discussion	
	15	Test 5/6	33	discussion	
	16	Units 7/8 Lesson A	34	discussion	
	17	Units 7/8 Lesson B	35	discussion	
18	Units 7/8 Lesson C	36	discussion		
成績割合	テスト	75%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	25%			
	レポート	0%	成績評価	会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>80%				
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー				

## シラバス

科目名	英会話ⅡA		担当者名	G.McArdle	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	"授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト				
授業概要	"コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業 です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をおおして、英語を基礎から学びます。自分 にあっているレベルで参加して、進むことができます。また、さまざまな国籍の教員から、世界の出来事についての意見 を聞き、文化や歴史の違いを感じることが出来る				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	Units 1/2 Lesson A	19	Test 7/8	
	2	Units 1/2 Lesson B	20	Test 7/8	
	3	Units 1/2 Lesson C	21	Units 9/10 Lesson A	
	4	Test 1/2	22	Units 9/10 Lesson B	
	5	Test 1/2	23	Units 9/10 Lesson C	
	6	Units 3/4 Lesson A	24	Test 9/10	
	7	Units 3/4 Lesson B	25	Test 9/10	
	8	Units 3/4 Lesson C	26	Units 11/12 Lesson A	
	9	Test 3/4	27	Units 11/12 Lesson B	
	10	Test 3/4	28	Units 11/12 Lesson C	
	11	Units 5/6 Lesson A	29	Test 11/12	
	12	Units 5/6 Lesson B	30	Test 11/12	
	13	Units 5/6 Lesson C	31	discussion	
	14	Test 5/6	32	discussion	
	15	Test 5/6	33	discussion	
	16	Units 7/8 Lesson A	34	discussion	
	17	Units 7/8 Lesson B	35	discussion	
18	Units 7/8 Lesson C	36	discussion		
成績割合	テスト	75%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	25%			
	レポート	0%	成績評価	会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>80%				
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー				

## シラバス

科目名	レストランサービス実習Ⅱ		担当者名	岡田 朋樹	
学科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必修	授業時間数	72時間
授業目的	HRS3級合格レベルまで、向上させる。学科、及び、実技の知識と技術の習熟。目標は全員合格。【自身の自力に気付いてもらう】ことが主眼。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	全員がHRS3級に合格する。				
授業概要					
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション	19	実技試験対策:実技試験日までは、通し稽古を続ける	
	2	オリエンテーション	20	実技試験対策:実技試験日までは、通し稽古を続ける 目的は【サービス】をする事。	
	3	オリエンテーション	21	実技試験対策:実技試験日までは、通し稽古を続ける 自分のパフォーマンスが【サービス】になっている事。そういう評価を受けること。	
	4	ガイダンス:本授業の目的、趣旨の説明 サービス・パーソンの最大の目的とは?その存在意義とは?	22	実技試験対策:実技試験日までは、通し稽古を続ける 細部の確認をする。動作、言葉使い等。	
	5	HRS3級実技内容説明: 前年度の試験内容説明。概要を説明。	23	実技試験対策:実技試験日までは、通し稽古を続ける 9分以内で終了させる	
	6	HRS3級作業内容 概要説明1:試験全般で注意する事を説明。身嗜み、言葉使い、時間厳守等を実際の現場とリンクさせて解説。	24	実技試験対策:実技試験日までは、通し稽古を続ける 最終確認。総合確認。	
	7	HRS3級作業内容 概要説明2:御出迎え、椅子引き、水の供出、メニュー供出までの説明。注意点の再確認。実際の現場とリンクして解説	25	実技試験対策:実技試験日までは、通し稽古を続ける メンタルに関してレクチャー	
	8	HRS3級作業内容 概要説明3:オーダーテイク、料理、ワインの供出までの説明。注意点の再確認。実際の現場とリンクして解説。	26	実技試験対策:実技試験日までは、通し稽古を続ける 総括	
	9	HRS3級作業内容 概要説明4:料理の下げ、食後の飲み物の確認、供出の説明、再確認。現場サービスの実際とリンクさせながら説明	27	ワイン概論1とテイステイング:ワインの基本に関する説明。その作り方、タイプ別の別、等の説明	
	10	HRS3級作業内容 概要説明5:お見送り、パッシング、リセットの説明、再確認。 現場サービスの実際とリンクさせながら説明する。	28		
	11	以降、通し稽古:修得していることを【正確、丁寧】に行えるかが問われる。第1段階の目的【声を大きく、ゆっくりと】サービスすること	29	シャンパン概論とテイステイング:スパークリングワイン(シャンパン含む)の説明。製造方法、品種の特徴等の理解。実践で説明できる知識	
	12	「声を大きくゆっくり」というのが難しいこと、本授業に取り組む真の意味を認識する。【出来ないことが、どうしたら出来るようになるか	30	随時ワインテイステイングを実施する。コメントは英語で行う。世界基準のテイステイング手法を使う事で、現場でも使える手法で行う。	
	13	第1段階終了確認:当初の自分を思い出してもらい、現状と比較する事で【自身の成長】を自覚してもらおう	31	実際のサービスの中で【ワインのリコメンド】とサービスを試みる	
	14	時間の概念を入れる。9分が基準時間。これを基準に「サービス」を行えるかが問われる。【メリハリとは何か】考えてもらう	32	2年間総括	
	15	自己タイムとサービスの内容とを比較。作業になっていないか?集中出来るか?他者からの評価は?《自分で考えて、再度アウトプット》	33	サービス・パーソンの存在意義の再確認。	
	16	第2段階終了]前期の今までの総括。【物事の捉え方、考え方】そして【表現の仕方】によって、自分の成長は変わってくる事に気付かせる	34	まとめ・振り返り	
	17	【前期総括】「あなたの目的は?」を再度考えてもらう。	35	まとめ・振り返り	
18	【前期最終総括】サービス・パーソンの存在意義の再確認。サービスとは?を考えてもらう。	36	まとめ・振り返り		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	後期終了時には、「HRS実技合格」しており、各自サービス・パーソンとしての、心構えを備えた状態を目的とする	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート		成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>100 A<<主体的参加型学習>>100 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	HRS1級、ソムリエ資格保持者。ホテル椿山荘東京にて現在も勤務。				



## シラバス

科目名	ホテル会計		担当者名	吉富 泰利	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	ホテルについての基礎理論および応用理論の理解を通じてホテル特有の会計情報の有用性を具体的事例を基に理解してもらう。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	財務諸表の意味を理解するとともに、キャッシュフロー計算や原価計算の重要性を理解してもらう。				
授業概要	ホテル会計について、ホテル会計統一制度を基本として宿泊部門・レストラン部門・宴会部門の各部門別会計とホテル全体の経営成績について学習してもらう。 会計、経営を前提とした知識、技術の習得、準備など座学形式で授業する。 架空のレストラン企画を通じて経営学の為に数値的・戦略的意思決定を実践的に学修する。なお、教科書に記載無い部分についてはプリントを配布する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	年間スケジュール・ホテル会計の概念 講義の意義と目的。	19	模擬レストランの開店計画書の作成③ 内装計画と外装計画	
	2	ホテル会計とは□ホテル会計の特色と会計情報についての基礎解説。	20	模擬レストランの開店計画書の作成④ 予算管理と区分	
	3	財務諸表の基礎理論□B/S と P/L の構造と関係	21	模擬レストランの開店計画書の作成⑤ 利益率と販売単価計画の確認	
	4	ホテル会計統一制度の意味と内容	22	客室変更と料金区分①□割引制度の種類と差異	
	5	売買価格の決定と集客可能エリア	23	客室変更と料金区分②□昼間料金と宿泊前後の早着・出発延長	
	6	利益の種類とその意味	24	H検定対策□財務部分の検定対策	
	7	固定費と変動費の考え方□費用区分と分析の基礎	25	客室売上の計算①□基本料金計算とサービス料収入	
	8	原価計算①□原価の考え方と費用化について	26	客室売上の計算②□稼働率と計数管理	
	9	料飲部門会計①□集客と地域的特性・稼働率と売上	27	宿泊料金計算①□プランと割引の基本計算問題の解説	
	10	料飲部門会計②□適正売上と機会原価計算	28	宿泊料金計算② 応用問題・付加的要素とサービス料	
	11	まとめ① 前期まとめ ここで料飲店企画を導入予定・中間報告をレポートで提出	29	租税公課と人件費□ホテル産業における人件費率と負担影響	
	12	原価計算②□ブッチャーテストと機会原価計算	30	まとめ② 後期末までのまとめ。理論問題復習	
	13	料飲部門会計③□売買価格と適正利益・売買価格と適正販売数	31		
	14	宴会部門会計①□パーティ原価と通常原価。	32		
	15	宴会部門会計②□経済環境の変化と販売計画変更	33		
	16	経営分析方法の確認と数値誤差の修正について	34		
	17	模擬レストランの開店計画書の作成① コンセプトの設定と集客	35		
18	模擬レストランの開店計画書の作成② 提供商品とサービス方法	36			
成績割合	テスト	前期末 筆記試験 成績の50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	出席率10%			
	レポート	課題提出30%	成績評価		
	合計	100%			前期末分50% 学年末分50%
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	1994年税理士事務所開業、 所長・代表税理士 東証一部上場企業保有会員制倶楽部財務分析担当としてコンサルティング 国際交流センター・都内シティホテルの建て替えプロジェクト参加。 都内ホテル財務分析担当として経営指導。 海外コンサルティングを含む。 ・日本ホテル・レストランコンサルティング協会会員 (上級ホテル・レストランファイナンシャル コンサルタント・JHRCA認定)・レジャー産業研究会・グループ8 (企画担当 役員)・日本国際観光				

## シラバス

科目名	ホテル・レストラン英語Ⅱ		担当者名	岡崎 志織	
学 科	ホテル科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	ホテル業務で必要とされる英語力の習得				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	あらゆる場面に対応できるスマートな会話力を身につける				
授業概要	テキスト”Hospitality on the Scene”, サブテキストに沿って、Listening力、会話力、読解力を養う。ホテルの仕事の内容も理解する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション、自己紹介	19	Unit 8 Arranging a Tour	
	2	Unit1 Transportation	20	Unit 8 Arranging a Tour	
	3	Unit 1 Transportation	21	Unit 9 Staying at a Ryokan	
	4	Unit 2 At a check in counter	22	Unit 9 Staying at a Ryokan	
	5	Unit 2 At a Check in Counter	23	Unit 10 Culture Experience in Japan 1	
	6	Unit 3 Facilities and Services	24	Unit 10 Culture Experience in Japan 1	
	7	Unit 3 Facilities and Services	25	Unit 11 Culture Experience in Japan 2	
	8	Unit 4 Giving Directions	26	Unit 11 Culture Experience in Japan 2	
	9	Unit 4 Giving Directions	27	Unit12 Japanese Souvenirs	
	10	Unit 5 Recommending a Trip	28	Unit12 Japanese Souvenirs	
	11	Unit 5 Recommending a Trip	29	Unit13 Dealing with Health Problems and Emergencies	
	12	Unit 6 Dining in Japan 1	30	Unit13 Dealing with Health Problems and Emergencies	
	13	Unit 6 Dining in Japan 1	31	Unit 14 Dealing with Complaints and Accidents	
	14	Unit 7 Dining in Japan 2	32	Unit 14 Dealing with Complaints and Accidents	
	15	Unit 7 Dining in Japan 2	33	Unit 15 Upon Departure	
	16	試験対策	34	Unit 15 Upon Departure	
	17	前期末試験	35	学年末試験	
18	試験解説	36	試験解説		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期、後期に成績表を配布	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価	出席80% S 90~100 A 80~89 B 70~79 C 60~69 59点以下は不合格とする	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 米国にてTESL(英語教員免許)取得 日米の教員免許所有 グローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた英語授業を心がけています。				

## シラバス

科目名	パソコン実習 II		担当者名	千葉 輝子	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る)</li> <li>・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表</li> <li>・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける</li> </ul>				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス	19	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)	
	2	ガイダンス	20	表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	3	ガイダンス	21	表作成課題(四則演算/表の装飾)	
	4	科目ガイダンス	22	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	5	Power Pointの基本操作/スライドの作成(アウトライン表示)	23	課題(計算、表の装飾)	
	6	スライドの作成 図形描画	24	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	7	スライドの作成 グラフ・SmartArt	25	表作成課題(RANK.EQ関数)	
	8	スライドの作成 表・画像の挿入	26	表作成課題(IF関数)	
	9	画像の編集(トリミング、彩度、明るさの変更等)・背景の設定(テーマ、背景画像 等)	27	グラフ作成の基本	
	10	発表用原稿、配布資料について、アニメーション・画面切り替え	28	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	11	プレゼン課題(検定試験サンプル問題)	29	表作成課題(VLOOKUP関数)	
	12	プレゼン小テスト(検定試験サンプル問題)	30	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	13	各自プレゼン発表用資料作成	31	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	14	各自プレゼン発表用資料作成	32	後期期末試験	
	15	各自プレゼン発表用資料作成	33	後期期末試験の解答解説及び後期振り返り	
	16	各自プレゼン発表用資料作成	34	ガイダンス	
	17	各自プレゼン発表用資料作成	35	ガイダンス	
18	前期末試験 プレゼン発表/前期振り返り	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の出入庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

シラバス

科目名	ナレーション		担当者名	桜田 ゆみ	
学 科	ホテル科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	72時間
開講学年	2学年	必・選	必選		
授業目的	シアターエドゥケーショナル(舞台表現学)、エンターテインメント作品の創作を通して、プレゼンテーションの強化を行う。プロジェクトを成功に導く力、協調性、話す力、伝える力の向上と、国際社会で活躍できる柔軟で魅力的な人材を育成する。授業内では個々の魅力を最大限に発揮させ、自己肯定感を高めながら苦手を克服、得意分野を未知数に伸ばす。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としての正しい判断と行動、美しくて朗らかな発想と発言を心がけ、自発的にオリジナル企画を創造し、チームで協力しながら取り組む実行力を強化する。プロジェクトの成功に大切な事柄を自ら探究し、指導力と責任感と和みの精神バランスを鍛える。描く夢と未来図、広い世界観、強い好奇心、自国と自分への誇りを持ち、世界中の人々と共に輝く魅力的な人物を目指す。				
授業概要	年2回のオリジナル舞台発表(またはオリジナルイベント制作)を行う。 日本と海外におけるエンターテインメントの制作現場と、成り立ち、脚本の構成、スタッフ、俳優(演者)の役割と技術を学び、総合舞台(演劇やミュージカルなど)の企画と発表までの一連を実体験する。最終目標実現への道のり、アクシデントへの対応、備えとシミュレーション、自身とチーム、お客様(相手方)を喜びと感謝と発展に導く力を養う。授業では枠にとらわれず自由な発想を持って挑戦し、伝えたいこと、表現したいことに全力で取り組み、特技と個性を生かせる人材になる。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	4月:自己紹介、スピーチ、フリートーク 演技基礎①	19	10月:前期舞台発表後のアンケートまとめ/舞台衣裳・道具の片付け、整理整頓 後期舞台発表のミーティング	
	2	4月:自己紹介、スピーチ、フリートーク 演技基礎②	20	10月:後期舞台発表のミーティング(演目) 演技マスター①	
	3	5月:※休講の予定	21	10月:後期舞台発表のミーティング(役職) 演技マスター②	
	4	5月:※オンライン・リモート授業の予定 スピーチ、フリートーク/前期の舞台制作ミーティング(演目)/演技基礎③	22	10月:後期舞台発表のミーティング/台本制作開始(配役) 演技マスター③	
	5	5月:スピーチ、フリートーク/前期の舞台制作ミーティング(演目・役職)演技基礎④	23	11月:演技マスター④ 舞台リハーサル	
	6	5月:スピーチ、フリートーク/舞台・台本制作(配役) 演技基礎⑤	24	11月:演技マスター⑤ 舞台リハーサル	
	7	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用①/舞台リハーサル	25	11月:演技マスター⑥ 舞台リハーサル	
	8	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用②/舞台リハーサル	26	11月:演技マスター⑦ 舞台リハーサル	
	9	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用③/舞台リハーサル	27	12月:ヘアメイク・衣裳・道具・照明・音響・映像・広報ミーティング 舞台リハーサル(通し)	
	10	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用④/舞台リハーサル	28	12月:舞台リハーサル(通し) 年内のクラス内中間発表・候補日	
	11	7月:ヘアメイク、衣裳、道具、照明、音響、映像、広報 ミーティング 舞台リハーサル	29	12月:年内のクラス内中間発表・候補日 衣裳・道具類の整理整頓	
	12	7月:ヘアメイク、衣裳、道具、照明、音響、映像、広報 ミーティング 舞台リハーサル(通し)	30	1月:舞台総合リハーサル	
	13	7月:夏休み前のクラス内、中間発表 衣裳・道具類の片づけ、整理整頓	31	1月:舞台総合リハーサル	
	14	9月:舞台総合リハーサル①	32	1月:舞台総合リハーサル	
	15	9月:舞台総合リハーサル②	33	1月:舞台総合リハーサルG.P.	
	16	9月:舞台総合リハーサル③G.P.	34	2月:後期舞台本番・候補日(期末試験)	
	17	9月:前期舞台発表・本番の候補日(期末試験)	35	2月:後期舞台本番・候補日(期末試験)	
18	10月:前期舞台発表・本番の候補日(期末試験)	36	2月:後期舞台本番・候補日(期末試験) 振り返り・まとめ		
成績割合	テスト	45%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	45%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>100% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	舞台演出家、劇作家、脚本家、放送作家、ソングライター、国際文化外交アーティスト、スペイン演劇・スペイン音楽翻訳家、武蔵野音楽大学音楽科卒業、スペイン国立マドリード音楽高等音楽院修了。モーツァルト作曲「魔笛」バミナー役でオペラデビュー。オフエンバク作曲「天国と地獄」キュービット役、ミュージカル「メリー・ポピンズ」「サウンド・オブ・ミュージック」の主演を務める。2005年にクラシックの枠を超えて日本テレビ「エンタの神様」で漫才師デビュー。ワタナベエンターテインメントに所属し「ラジかる」(レギュラー)、「笑っていいとも」などに出演。2014年よりNHK「オペラ寄席すばげっ亭」放送作家、脚本を務め、「NHK編成局長」特賞受賞。2017年、スペイン「国王フェリペ6世」より奨励。スペイン演劇、喜劇の専門家として海外公演を行うほか、スペイン大使館、外務省、在外日本大使館公演を務める。スペイン国営インスティテュート・セルバンテス東京講師。受賞歴:2005年、ロータリー財団100周年記念「専門職務奉仕賞」受賞。2009年、カンヌ国際広告祭「グランプリ受賞」、2014年と2017年に「NHK編成局長」特賞受賞。				

## シラバス

科目名	HRS II		担当者名	岡田 朋樹		
学 科	ホテル科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 必選	授 業 時 間 数	18時間	
授業目的	HRS3級合格レベルまで、向上させる。『問題解決能力』を身に付けてもらう。学科、及び、実技の知識と技術の習熟。目標は全員合格。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	HRS3級の筆記試験通過。					
授業概要						
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19			
	2	オリエンテーション	20			
	3	オリエンテーション	21			
	4	本授業の目的、趣旨の説明 サービス・パーソンの最大の目的とは?その存在意義とは?	22			
	5	小テスト1: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	23			
	6	小テスト2: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	24			
	7	小テスト3: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	25			
	8	小テスト4: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	26			
	9	小テスト5: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	27			
	10	小テスト6: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	28			
	11	総括テスト1(小テストの1~6)	29			
	12	小テスト7: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	30			
	13	小テスト8: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	31			
	14	小テスト9: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	32			
	15	小テスト10: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	33			
	16	小テスト11: 事前に出題範囲を通過し10分間テスト。残りは前回試験の復習。テスト予告→各自勉強→テスト→復習→テストを繰り返す	34			
	17	総括テスト2(小テストの7~11)	35			
18	総括テスト1,2の最終テスト	36				
成績割合	テスト	50%	学習FB方法			
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>100 G<<海外体感型学習>>30					
講師プロフィール	HRS1級、ソムリエ資格保持者。ホテル椿山荘東京にて現在も勤務。					